平成21年度 第2回本巣市地域公共交通活性化協議会及び 本巣市地域公共交通会議 次第

平成22年2月26日(金) 午後2時から 本巣市役所2階大会議室

- 1. あいさつ
- 2. 協議事項
 - (1) 平成2<u>1年度実証実験結果について</u> 資料1 平成21年度実証実験結果
 - (2) もとバス・ササユリ再編について 資料2 目標値達成に向けてのシュミレーション

資料3 平成22年度もとバス・ササユリ見直し(案)

- (3) 本巣市地域公共交通総合連携計画の変更について 資料4 本巣市地域公共交通総合連携計画新旧対照表
- (4) その他

地域公共交通活性化・再生総合事業計画変更について 資料 5 地域公共交通活性化・再生総合事業新旧対照表

本巣市地域公共交通活性化協議会補正予算について 資料6 本巣市地域公共交通活性化協議会補正予算(案)

根尾地域自主運行バスルート再編について(報告) 資料 7 再編ルート図及びダイヤ・運賃表

平成21年度実証実験結果

(1) 根尾地域自主運行バス

実証実験なし

1)利用者数

根尾地域自主運行バスの利用者数は減少傾向が進んでおり、平成21年度の利用者数は約30,900人と平成19年度の約22%減となる見込みである。

利用者数減少の要因としては、根尾小学校の児童数減少が考えられ、今後も児童数減少が続くと利用者数の目標値(38,000人)達成は一層厳しいものとなる。

	H19年度実績	H20年度実績	H21年度見込
年間利用者数	39, 810人	36, 339人	30, 900人
松田線	11,659人	11,872人	10, 400人
奥谷線	4, 773人	4, 332人	4, 300人
能郷線	23, 378人	20, 135人	16, 200人
1日あたり利用者数	110人/日	108人/日	94人/日
松田線	32人/日	40人/日	36人/日
奥谷線	13人/日	12人/日	12人/日
能郷線	65人/日	56人/日	46人/日
児童数(通園者数)	52人	48人(9人)	45人(11人)
松田線	16人	13人(4人)	15人(5人)
奥谷線	7人	7人(0人)	6人(3人)
能郷線	29人	28人(5人)	24人(3人)

根尾地域自主運行バス・利用者数

2) 利用者一人あたりの市年間負担コスト

利用者数は減少傾向にあるため、利用者一人あたりの市年間負担コストは年々増加しており、平成21年度の見込みは約730円/人と平成19年度の約29%増となっている。

現時点では、根尾地域自主運行バス単独でみた場合に、利用者数一人あたりの市年間 負担コストの目標値(市全体で800円/人)はクリアしているものの、今後、利用者数が 減少し続けると市全体での目標値達成が困難となることが予想される。

そのため、今後は運行の効率化を進めていく必要がある。

	H19年度実績	H20年度実績	H21年度見込	
運行経費	22,600千円	22,669千円	22, 566千円	
利用者数	39, 810人	36, 339人	30, 900人	
一人あたりコスト	568円/人	624円/人	730円/人	

(2) ササユリ

1) 平成21年度実証実験

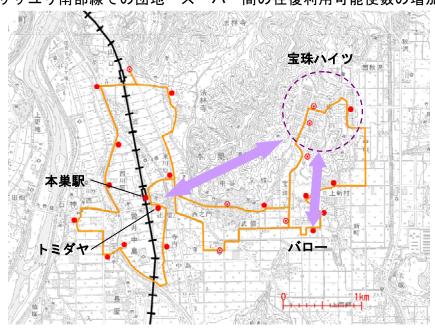
【実証実験メニュー】

◆ダイヤの見直し

新たな需要を掘り起こすためのダイヤ改正を行った。

- ・団地-スーパー間の往復利用可能便数の増加(3往復→4往復)
- ・わかりやすいヘッドダイヤ
- ・樽見鉄道との乗継を考慮したダイヤ

ササユリ南部線での団地ースーパー間の往復利用可能便数の増加



◆フリー乗降制の導入

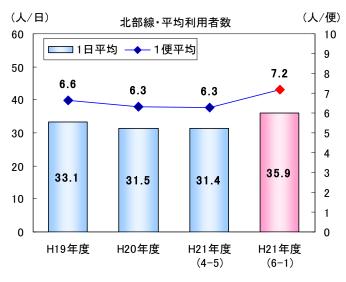
利便性向上を図るため、運行ルートの一部区間において停留所以外でも乗降可能なフリー乗降制を導入した。なお、導入区間は、安全面に十分配慮し、自動車の交通量が少なく、かつ乗降のための停車スペースが確保できる区間とした。

- ・北部線=国道以外の区間、南部線=宝珠ハイツ内
- ・乗車するときは、手を上げるなど運転手にわかるように合図し、降車するときは、 事前に運転手に降車位置を伝える

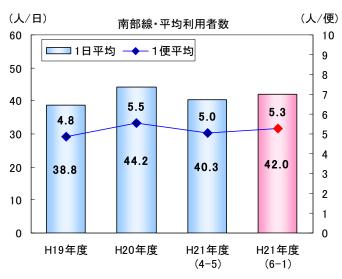
【実証実験結果】

- ◆1日平均利用者数(H22.1末時点)は、北部線35.9人/日、南部線42.0人/日であり、 平成19年度と比較すると若干増加している。ただし、南部線は平成20年度より 若干減少している。
- ◆南部線では、ダイヤ変更によって1~3便が満遍なく利用されるようになった。
- ◆平成21年6月からのダイヤ変更については、北部線は利用者の約6割、南部線は利用者の約4割が良くなったと感じている。また、フリー乗降制度の導入については、北部線は利用者の約9割が認知しているものの、南部線の利用者は約2割しか認知していないため、広報・PRが必要である。(フリー乗降者の割合(H21.9~H22.1)は、乗車時約6%、降車時約12%)
- ◆特に南部線の利用者からは、もとバスとの接続やモレラ岐阜行きルートが欲しいといった改善要望がある。

ササユリ北部線・利用者数



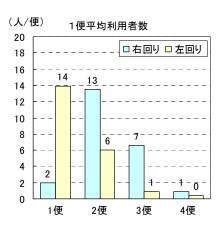
ササユリ南部線・利用者数

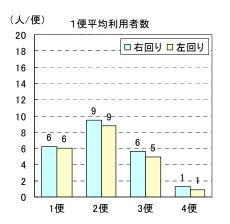


ササユリ南部線・便別利用者数 H20年度

(人/便) 1便平均利用者数 20 □右回り□左回り 18 16 14 12 12 10 8 6 4 2 2 0 1便 2便 3便 4便

H19年度





H21年度(6~1月)

2) 利用者数

ササユリの利用者数は、ほぼ横ばいとなっており、平成21年度の利用者数は約11,300人と平成19年度の約3%増となる見込みである。

平成21年6月のダイヤ改正及びフリー乗降制の導入については、まだ1年間の結果が出ていないものの、平成22年1月末時点までの1日あたり平均は平成19年度を上回っており、一定の改善効果があったといえる。

現在の利用状況から推測すると、今後も現在のサービス水準が確保されれば、ササユリについては利用者数の目標値(11,000人)は達成可能であると考えられる。

H20年度実績 H19年度実績 H21年度見込 年間利用者数 10.940人 11,121人 11,300人 北部線 5.137人 4,536人 5, 100人 6.200人 南部線 5.803人 6.585人 1日あたり利用者数 36人/日 38人/日 39人/日 5.5人/便 5.8人/便 6.0人/便 1便あたり利用者数

ササユリ・利用者数

3) 利用者一人あたりの市年間負担コスト

ササユリは、運行経費及び利用者数ともほぼ横ばいであるため、利用者一人あたりの 市年間負担コストも大きな変動はない。

現時点では、ササユリ単独でみた場合に、利用者数一人あたりの市年間負担コストの目標値(市全体で800円/人)はクリアしている。

	H19年度実績	H20年度実績	H21年度見込	
運行経費	5, 200千円	5, 699千円	5, 453千円	
利用者数	10, 940人	11, 121人	11, 300人	
一人あたりコスト	475円/人	497円/人	483円/人	

ササユリ・運行経費と利用者一人あたりコスト

(3) もとバス

1) 平成21年度実証実験

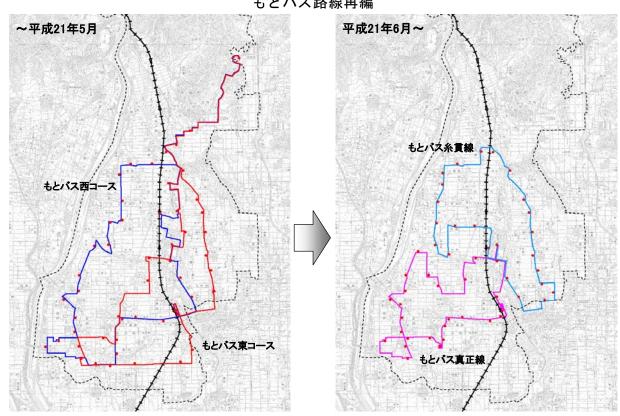
【実証実験メニュー】

◆路線再編

平成20年度に実施した市民アンケート調査結果などを踏まえ、通院や買い物な ど日常生活に密着した各地域内(旧糸貫町、旧真正町)の移動利便性の向上を第一 に考えたルート・ダイヤに再編した。

- ・西コース・東コース → 糸貫線・真正線
- ・停留所をきめ細かく設置
- ・医療機関の立地を考慮した停留所の配置
- ・わかりやすいヘッドダイヤ
- ・糸貫線⇔真正線の乗継を考慮したダイヤ調整(モレラ岐阜での乗継)
- ・ 樽見鉄道とのダイヤ調整 (モレラ岐阜駅, 北方真桑駅)





◆高齢者無料制度の導入

高齢者の外出をサポートしながら一層の利用促進を図るため、高齢者無料制度 (70歳以上無料)を導入した。

◆もとバス間乗継無料制度の導入

地域間移動の利便性向上を図るため、もとバス間乗継無料制度(糸貫線⇔真正線 乗継時にもとバス利用券を配布)を導入した。

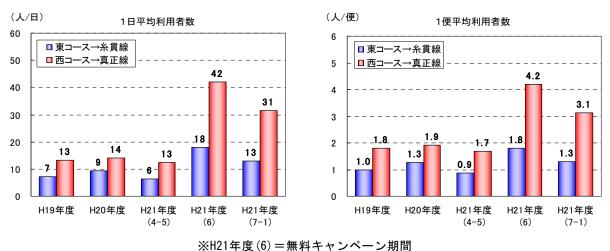
◆樽見鉄道との乗継無料制度の導入

樽見鉄道及びもとバスの双方の利用促進を図るため、樽見鉄道利用者については、 もとバス料金無料制度(樽見鉄道車内においてもとバスへの乗継券を配布)を導入 した。

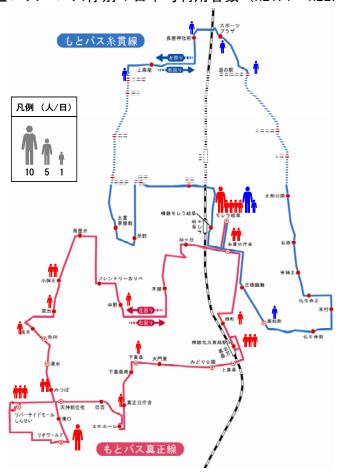
【実証実験結果】

- ◆1日平均利用者数(平成22年1月末時点)は、糸貫線13人/日、真正線31人/日、 もとバス全体では44人/日となっている。
- ◆従来路線とはカバーエリアが異なるため単純比較は難しいものの、利用者数が倍増 以上に伸びた真正線に比べ、糸貫線の利用者数の伸びが著しく低調である。
- ◆平成21年6月からの再編について良くなったと感じている利用者は、糸貫線は38%、真正線は57%となっている。
- ◆もとバスの良くなった点としては、「モレラ岐阜へ早く行けるようになった」「ダイヤがわかりやすくなった」「運行本数が多くなった」が上位であり、再編について一定の評価が得られた。

もとバス・利用者数



もとバス・バス停別 1 日平均利用者数 (H21.7~H22.1)



もとバス・乗継利用者数

	もとバス⇔樽見鉄道	糸貫線→真正線	真正線→糸貫線
乗継利用券利用状況	53	109	95

※H21.7~H22.1の利用券使用枚数

2) 利用者数

もとバスの利用者数は、平成21年6月の路線再編により、平成21年度の利用者数は約15,900人と平成19年度の約2.2倍となる見通しである。

しかしながら、もとバスの利用者数の目標値(26,000人)の達成は非常に厳しい状況である。

H19年度実績 H20年度実績 H21年度見込 15.900人 年間利用者数 7,373人 8,412人 糸貫線(東コース) 2.593人 3,369人 4.700人 11,200人 真正線(西コース) 4, 780人 5,043人 1日あたり利用者数 20.5人/日 23.4人/日 44.5人/日 1 便あたり利用者数 1.4人/便 1.6人/便 2.2人/便

もとバス・利用者数

3) 利用者一人あたりの市年間負担コスト

もとバスの運行経費は、平成21年6月の路線再編に伴い、約1割程度削減された。 一方で、利用者数は路線再編により大幅に増加したため、利用者一人あたりの市年間 負担コストは減少しており、平成21年度の見込みは1,705円/人と平成19年度の半分 以下となっている。

もとバス単独でみた場合、路線再編により利用者数は増加しているものの、利用者数一人あたりの市年間負担コストの目標値(市全体で800円/人)の達成は非常に厳しい状況である。

0 - 17	· Entegenn	107070	` '	
	H19年度実績	H20年度実績	H21年度見込	
運行経費	30, 200千円	29,820千円	27, 106千円	
利用者数	7, 373人	8, 412人	15, 900人	
一人あたりコスト	4,096円/人	3,545円/人	1, 705円/人	

もとバス・運行経費と利用者一人あたりコスト

		19年度	20	年度	2	:1年度		22年度	(予想値)	
運行バス	運行バス 項目					実績	案①	案②	案③	案③の2
		実績	実績	連携計画 の目標値		关模 (見込)	★糸貫線を継続	★糸貫線を廃止 (代替手段にデマン ドタクシー導入)	★糸貫線を廃止 (ササユリ南部線と 統合)	★真正線を市直営 化 ★糸貫線を廃止 (ササユリ南部線と
					真正	11,200	10,080	10,080	10,080	2,880
	年間利用者数 (人)	7,373	8,412	26,000	糸貫	4,700	4,230	4,230	(ササユリ南部線に統合)	(ササユリ南部線に統合)
					計	15,900	14,310	14,310	10,080	2,880
					真正	13,553	10,839	14,601	14,601	2,863
もとバス	年間運行経費 (千円)	30,200	29,820		糸貫	13,553	10,839	4,960	(ササユリ南部線に統合)	(ササユリ南部線に統合)
もとハス	(+11)			_	計	27,106	21,678	19,561	14,601	2,863
	経費削減率(%)	0.0	▲ 1.3			▲ 10.2	▲ 28.2	▲ 35.2	▲ 51.7	▲ 90.5
	_				真正	1,210	1,075	1,449	1,449	994
	利用者一人 あたりコスト(円)	4,096	3,545	_	糸貫	2,884	2,562	1,173	(ササユリ南部線に統合)	(ササユリ南部線に統合)
	めたタコスト(11)				計	1,705	1,515	1,367	1,449	994
						平日9便・土日初		週3日×6便/日		

年間利用者数 10,940 11,300 11,121 11,000 11,300 11,300 12,510 12,510 (人) 年間運行経費 5,200 5,699 5,453 5,200 5,200 5,200 5,200 ササユリ (千円) 経費削減率(% 0.0 9.6 4.9 0.0 0.0 0.0 0.0 利用者一人 あたりコスト(円 483 475 416 512 460 460 416

南部線を糸貫地域へ拡大 (8便/日→6便/日)

	年間利用者数 (人)	39,810	36,339	38,000	30,900	30,900	30,900	30,900	30,900
根尾地域自	年間運行経費 (千円)	22,600	22,669	_	22,566	22,566	22,566	22,566	22,566
主運行バス	経費削減率(%)	0.0	0.3		▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2
	利用者一人 あたりコスト(円)	568	624	_	730	730	730	730	730

	年間利用者数 (人)	38,123	55,872	75,000	58,100	56,510	56,510	53,490	46,290
市全体	年間運行経費 (千円)	58,000	58,188	_	55,125	49,444	47,327	42,367	30,629
	経費削減率(%)	0.0	0.3		▲ 5.0	▲ 14.8	▲ 18.4	▲ 27.0	▲ 47.2
	利用者一人 あたりコスト(円)	998	1,041	800円 以下	949	875	837	792	662

設定条件

<21年度関係>

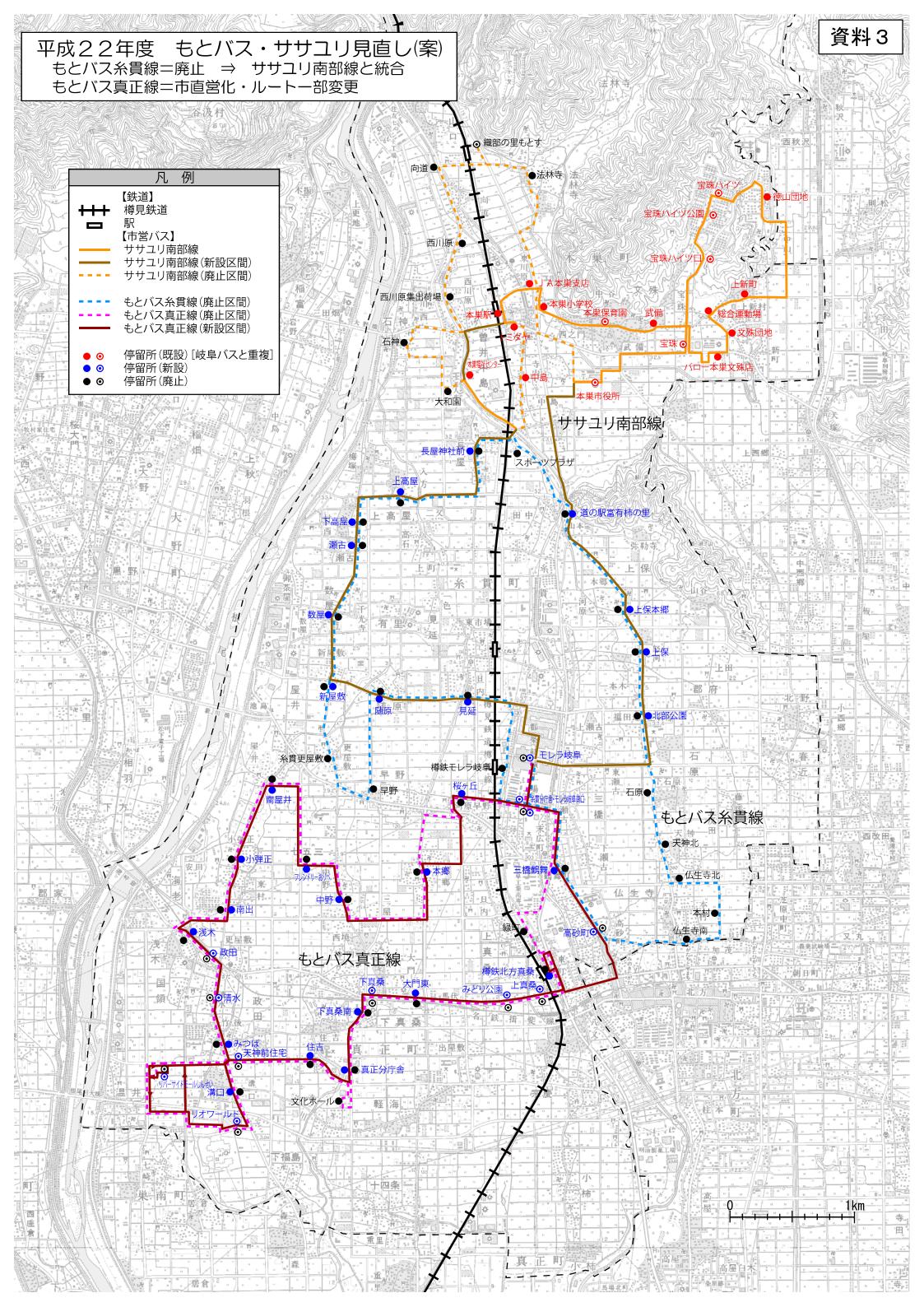
●年間利用者数の実績見込は、平成21年6月~12月の実証実験結果(無料キャンペーン期間を除く。)を12ヶ月分に換算。

<22年度関係>

- ●年間利用者数及び年間運行経費は、再編のタイミング(月)にかかわらず、12ヶ月間運行した場合の値を算出。
- ●再編時に発生する臨時的経費(バス停移設費や改正時刻表印刷費など)については、加味せず。

- ●もとバス真正線・糸貫線を問わず、平日10便→9便、土日祝10便→6便の体制とした場合の年間利用者数は、概ね1割減を見込む。 ●「案③の2」の場合におけるもとバス真正線は週3日(火・木・土)運行とし、年間利用者数を次のとおり算出。 21年度真正線利用者数(11,200人)×(6便/日×週3日)/(10便/日×週7日)=2,880人
- ●「案②」の糸貫地域の廃止代替(デマンドタクシー)について、年間運行経費は普通タクシー料金(中型)の距離制運賃(初乗り1.3km 未満600円+@80円/248m)のみを基礎に算出し、時間制運賃(@80円/90秒)その他は加味せず。年間利用者数は21年度に実施した利用者アンケート調査(9/1~9/7)のODデータを基礎に算出。

- 【ササユリ】 ■「案③」「案③の2」の糸負地域の廃止代替(ササユリ南部線との一部統合)について、ササユリ南部線の現行タイヤ・ルートを見直し効 化を図りながら糸貫地域ヘルート拡大することにより、ササユリの運行経費増を回避。
 - ●「案③」「案③の2」のササユリの年間利用者数については、廃止バス(もとバス糸貫線)からの転換者見込数を21年度実績見込に加算。 21年度糸貫線利用者数(4,700人)×(6便/日×週3日)/(10便/日×週7日)+21年度ササユリ利用者数(11,300人)≒12,510人



ササユリ南部線(案)

No.	停留所	1便	3便	5便	7便	所要時間	距離
1	モレラ岐阜	_	10:40	13:40	15:40		
2	北部公園	_	10:43	13:43	15:43	0:03	1.3
3	上保	-	10:44	13:44	15:44	0:01	0.6
4	上保本郷	-	10:45	13:45	15:45	0:01	0.4
5	道の駅富有柿の里	-	10:47	13:47	15:47	0:02	1.0
6	本巣市役所	8:50	10:50	13:50	15:50	0:03	1.5
7	宝珠	8:54	10:54	13:54	15:54	0:04	1.1
8	宝珠ハイツロ	8:56	10:56	13:56	15:56	0:02	0.7
9	宝珠ハイツ公園	8:57	10:57	13:57	15:57	0:01	0.3
10	宝珠ハイツ	8:58	10:58	13:58	15:58	0:01	0.3
11	徳山団地	8:59	10:59	13:59	15:59	0:01	0.5
12	上新町	9:02	11:02	14:02	16:02	0:03	1.4
13	総合運動場	9:03	11:03	14:03	16:03	0:01	0.3
14	文殊団地	9:04	11:04	14:04	16:04	0:01	0.2
15	バロー本巣文殊店	9:05	11:05	14:05	-	0:01	0.5
16	宝珠	9:06	11:06	14:06	1	0:01	0.1
17	武備	9:07	11:07	14:07	-	0:01	0.5
18	本巣保育園	9:08	11:08	14:08	-	0:01	0.5
19	本巣小学校	9:09	11:09	14:09	-	0:01	0.3
20	JA本巣支店	9:11	11:11	14:11	-	0:02	0.3
21	本巣駅	9:12	11:12	14:12	1	0:01	0.4
22	トミダヤ	9:13	11:13	14:13	-	0:01	0.4
23	本巣福祉センター	9:15	11:15	14:15	ı	0:02	0.9
24	長屋神社前	9:17	11:17	14:17	_	0:02	1.0
25	上高屋	9:19	11:19	14:19	_	0:02	1.1
26	下高屋	9:20	11:20	14:20	_	0:01	0.5
27	瀬古	9:21	11:21	14:21	_	0:01	0.5
28	数屋	9:22	11:22	14:22	_	0:01	0.5
29	新屋敷	9:24	11:24	14:24	_	0:02	0.4
30	随原	9:25	11:25	14:25	_	0:01	0.4
31	見延	9:26	11:26	14:26	_	0:01	0.7
32	モレラ岐阜	9:29	11:29	14:29	_	0:03	1.2
	休憩	0:11	0:11	0:11		0:49	19.8

No.	停留所	2便	4便	6便	所要時間	距離
1	モレラ岐阜	9:40	11:40	14:40		
2	見延	9:43	11:43	14:43	0:03	1.2
3	随原	9:44	11:44	14:44	0:01	0.7
4	新屋敷	9:45	11:45	14:45	0:01	0.4
5	数屋	9:47	11:47	14:47	0:02	0.4
6	瀬古	9:48	11:48	14:48	0:01	0.5
7	下高屋	9:49	11:49	14:49	0:01	0.5
8	上高屋	9:50	11:50	14:50	0:01	0.5
9	長屋神社前	9:52	11:52	14:52	0:02	1.1
10	本巣福祉センター	9:54	11:54	14:54	0:02	1.0
11	トミダヤ	9:56	11:56	14:56	0:02	1.0
12	本巣駅	9:57	11:57	14:57	0:01	0.3
13	JA本巣支店	9:58	11:58	14:58	0:01	0.4
14	本巣小学校	10:00	12:00	15:00	0:02	0.3
15	本巣保育園	10:01	12:01	15:01	0:01	0.3
16	武備	10:02	12:02	15:02	0:01	0.5
17	宝珠	10:03	12:03	15:03	0:01	0.4
18	バロー本巣文殊店	10:04	12:04	15:04	0:01	0.2
19	文殊団地	10:05	12:05	15:05	0:01	0.5
20	総合運動場	10:06	12:06	15:06	0:01	0.2
21	上新町	10:07	12:07	15:07	0:01	0.3
22	徳山団地	10:10	12:10	15:10	0:03	1.4
23	宝珠ハイツ	10:11	12:11	15:11	0:01	0.5
24	宝珠ハイツ公園	10:12	12:12	15:12	0:01	0.3
25	宝珠ハイツロ	10:13	12:13	15:13	0:01	0.3
26	宝珠	10:15	12:15	15:15	0:02	0.7
27	本巣市役所	10:19	12:19	15:19	0:04	1.1
28	道の駅富有柿の里	10:22	12:22	15:22	0:03	<i>1.5</i>
29	上保本郷	10:24	12:24	15:24	0:02	1.0
30	上保	10:25	12:25	15:25	0:01	0.4
31	北部公園	10:26	12:26	15:26	0:01	0.6
32	モレラ岐阜	10:29	12:29	15:29	0:03	1.3
	休憩	0:11	1:11	0:11	0:49	19.8

もとバス真正線(案)

	/ -	4 /=	o/=	- /=	1	I	n= ±4
No.	停留所	1便	3便	5便		<i>所要時間</i>	<i>距離</i>
1	モレラ岐阜	9:35	11:35	14:35			
2	糸貫分庁舎・モレラ岐阜南口(糸貫分庁舎)	9:37	11:37	14:37	\	0:02	0.7
3	桜ヶ丘	9:38	11:38	14:38	\	0:01	0.6
4	本郷	9:41	11:41	14:41		0:03	1.0
5	中野	9:44	11:44	14:44		0:03	1.3
6	フレンドリーおりべ	9:45	11:45	14:45		0:01	0.4
7	南屋井	9:47	11:47	14:47		0:02	1.0
8	小弾正	9:49	11:49	14:49		0:02	0.8
9	南出	9:50	11:50	14:50		0:01	0.5
10	浅木	9:52	11:52	14:52		0:02	0.6
-11	政田	9:52	11:52	14:52		0:00	0.2
12	清水	9:53	11:53	14:53		0:01	0.3
13	みつば	9:54	11:54	14:54		0:01	0.4
14	リバーサイドモールしんせい	9:56	11:56	14:56		0:02	0.8
15	リオワールド	10:00	12:00	15:00		0:04	1.3
16	溝口	10:02	12:02	15:02		0:02	0.5
17	天神前住宅	10:03	12:03	15:03		0:01	0.3
18	住吉	10:04	12:04	15:04		0:01	0.6
19	真正分庁舎	10:05	12:05	15:05		0:01	0.5
20	下真桑南	10:06	12:06	15:06		0:01	0.5
21	下真桑	10:06	12:06	15:06		0:00	0.3
22	大門東	10:07	12:07	15:07		0:01	0.3
23	みどり公園	10:08	12:08	15:08		0:01	0.7
24	上真桑	10:09	12:09	15:09		0:01	0.3
25	樽鉄北方真桑	10:11	12:11	15:11		0:02	0.3
26	高砂町	10:16	12:16	15:16		0:05	1.5
27	三橋鶴舞	10:17	12:17	15:17		0:01	0.5
28	糸貫分庁舎・モレラ岐阜南口(糸貫分庁舎)	10:20	12:20	15:20		0:03	0.7
29	モレラ岐阜	10:22	12:22	15:22		0:02	0.6
	休憩	0:13	0:13	0:13		0:47	17.5



利用例

例: 宝珠ハイツ・徳山団地からパロー本巣文殊店・トミダヤへの行き・帰り

行き | マンエリ田町様 | 12 | 宝珠ハイツ乗車 (8:58発) | バロー本巣文殊店降車 (9:05着) | 徳山団地乗車 (8:59発) | トミダヤ降車 (9:13着)

帰り ササユリ南部線 2 便 トミダヤ乗車 (9:56発) バロー本巣文殊店乗車 (10:04発) 宝珠ハイツ降車 (10:11着)

※行き3便→帰り4便、行き5便→帰り6便も利用可能

例: 宝珠ハイツ・徳山団地からモレラ岐阜への行き・帰り

ササユリ南部線 2 便 徳山団地乗車 (10:10発) 宝珠ハイツ乗車 (10:11発) 帰り <u>ササユリ南部線 5 便</u> モレラ岐阜乗車(13:40発) 宝珠ハイツ降車(13:58着)徳山団地降車(13:59着)

※行き4便→帰り5便または7便も利用可能 ※行き1便も利用可能、ただし開店まで30分待ち

例:下真桑・樽鉄北方真桑からモレラ岐阜への行き・帰り 行き

リバーサイドモールしんせい乗車(10:59発)



※行き3便→帰り4便、行き5便→帰り6便も利用可能

例:中野・小弾正からリバーサイドモール・リオワールドへの行き・帰り

リオワールド降車

(10:56発)

リバーサイドモールしんせい降車 (9:56着)

小弾正降車 (11:07着)

中野降車 (11:12着)

※行き3便→帰り6便も利用可能

行き

帰り

<u>もとバス真正線1便</u> 中野乗車 (9:44発) 小弾正乗車 (9:49発)

<u>もとバス真正線2便</u> リオワールド乗車

例: 長屋神社前・下高屋からモレラ岐阜・リバーサイドモールへの行き・帰り

行き ササユリ南部線 1 便 長屋神社前乗車 (9:17発) 下高屋乗車 (9:20発) モレラ岐阜降車 (9:29着) リバーサイドモールしんせい降車 (9:56着) モレラ岐阜乗車 (9:35発) リオワールド降車 (10:00着) 帰り もとバス真正線 2 便 リオワールド乗車 <u>ササユリ南部線4便</u> モレラ岐阜乗車(11:40発) モレラ岐阜降車(11:20着) (10:56季~) 下高屋降車 リバーサイドモールしんせい乗車(10:59発) 長屋神社前降車(11:52着)

改正案

本巢市地域公共交通総合連携計画

平成21年1月

改正 平成22年2月

本 巣 市

現行

本巢市地域公共交通総合連携計画

平成21年1月

本 巣 市

目 次

1.	はし	こめに	1
	(1)	背景と目的	1
	(2)	計画の進め方	1
	(3)	計画の位置づけ	2
2.	本	巣市の概況	3
	(1)	沿革・位置・地勢	3
	(2)	ДП	3
	(3)	通勤・通学流動	4
	(4)	運転免許・自動車保有状況	5
3.	地址	或公共交通の現状	6
	(1)	樽見鉄道	6
	(2)	路線バス	7
	(3)	根尾地域自主運行バス	8
	(4)	ササユリ (行政福祉バス)	9
	(5)	もとバス	10
4.	地址	或公共交通の必要性と市民の意識	11
	(1)	地域公共交通の必要性	11
	(2)	地域公共交通に関する市民の意識	13
5.	地地	或公共交通の課題	16
	(1)	根尾地域における課題	16
	(2)	本巣地域における課題	17
	(3)	糸貫·真正地域における課題	18
	(4)	地域公共交通全般の課題	19
6.	地均	或公共交通活性化計画	20
	(1)	基本方針	20
	(2)	計画区域	20
	(3)	課題への対応方針	20
	(4)	目標	
	(5)	市営バスの利用料金に係る基本方針	22
	(6)	具体的な目標値	23
	(7)	平成21年度の実証実験の結果	24
	(8)	目標値の見直し(平成22年度以降)	24
	(9)	具体的事業と実施主体(平成22年度以降)	25
7.	事	業の展開	32
	(1)	推進体制	32
	(2)	計画期間	32
	(3)	実施スケジュール	33

目 次

1 1	じめに	1
(1)	背景と目的	
(2)	計画の進め方	
(3)		
(- /	巣市の概況	
(1)		
(2)	人口	
(3)	通勤・通学流動	
(4)	運転免許・自動車保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
, ,	域公共交通の現状	
(1)		
(2)	路線バス	
(3)	根尾地域自主運行バス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(4)	ササユリ(行政福祉バス)	
(5)	もとバス	10
4. 地	域公共交通の必要性と市民の意識	11
(1)	地域公共交通の必要性	11
(2)	地域公共交通に関する市民の意識	13
5. 地	域公共交通の課題	16
(1)	根尾地域における課題	16
(2)	本巣地域における課題	17
(3)	糸貫・真正地域における課題	18
(4)	地域公共交通全般の課題	19
6. 地	域公共交通活性化計画	20
(1)	基本方針	20
(2)	計画区域	20
(3)	課題への対応方針	20
(4)	目標	
(5)	市営バスの利用料金に係る基本方針	
(6)	具体的な目標値	
(7)	具体的事業と実施主体	24
=	業の展開	
(1)	72.211 11.72	
(2)	計画期間	31
(3)	実施スケジュール	32

6. 地域公共交通活性化計画

(1)基本方針

平成20年2月に策定された本巣市都市計画マスタープランでは、本市の将来像である『自然と人が共生し、快適でこころふれあうまち』を実現するため、以下の3つの目標を掲げている。

- 豊かな自然を守り、活かすまちづくり
- ・安全・安心で快適に過ごせるまちづくり
- ・活力に満ち、こころがふれあうまちづくり

さらに将来像やまちづくりの目標を達成するために、道路・交通に関しては、**『特 徴的な地域を結び、安全・快適に利用できる交通環境づくり』**を基本方針とし、その中で公共交通については、樽見鉄道とバスの連携に配慮した施設・体制の充実を図っていくこととしている。

そこで本計画においては、上位計画である都市計画マスタープランの基本方針を踏ま えて以下の4つの基本方針を掲げ、公共交通の活性化・再生を図っていくこととする。

- ① 市民にとってわかりやすい公共交通体系であること
- ② 最小限の経費で最大限の効果が得られるよう公共交通施策を講じること
- ③ 市全体の均衡を図りつつ、地域の特性に配慮した公共交通体系であること
- ④ 継続的に現状評価を行うこと

(2) 計画区域

計画区域は、本巣市全域とする。

(3) 課題への対応方針

地域公共交通の地域別及び全般の課題については、次の対応を図っていくものとする。

	課題	対応方針		
та	樽見鉄道と根尾地域自主運行バスの接続	ダイヤ調整		
根尾	昼間時の運行効率化	利用の少ない便の統廃合		
7-6	小学校の長期休暇等への対応	季節限定ダイヤなど柔軟なダイヤ編成		
-	樽見鉄道とササユリの接続	ダイヤ調整		
本巣	ササユリ北部線の停留所間隔	フリー乗降制の導入		
*	ササユリ南部線のトミダヤへの利便性	ダイヤ調整		
糸	もとバスのルート	路線再編		
貫		(西・東コース→糸貫線・真正線)		
•	もとバスの停留所間隔	停留所の新設・改廃		
真正	JR穂積駅へのアクセス	路線の検証(事業者と協議)		
TE.		樽見鉄道との接続		
	利用者の減少	利便性向上		
		利用促進PR		
全般	運行の効率化	運行形態の見直し		
/100	他モードとの連携	P&R用駐車場の確保		
		C&R用駐輪場の拡大		

6. 地域公共交诵活性化計画

(1) 基本方針

平成20年2月に策定された本巣市都市計画マスタープランでは、本市の将来像である『自然と人が共生し、快適でこころふれあうまち』を実現するため、以下の3つの目標を掲げている。

- 豊かな自然を守り、活かすまちづくり
- ・安全・安心で快適に過ごせるまちづくり
- 活力に満ち、こころがふれあうまちづくり

さらに将来像やまちづくりの目標を達成するために、道路・交通に関しては、**『特 徴的な地域を結び、安全・快適に利用できる交通環境づくり』**を基本方針とし、その中で公共交通については、樽見鉄道とバスの連携に配慮した施設・体制の充実を図っていくこととしている。

そこで本計画においては、上位計画である都市計画マスタープランの基本方針を踏ま えて以下の4つの基本方針を掲げ、公共交通の活性化・再生を図っていくこととする。

- ① 市民にとってわかりやすい公共交通体系であること
- ② 最小限の経費で最大限の効果が得られるよう公共交通施策を講じること
- ③ 市全体の均衡を図りつつ、地域の特性に配慮した公共交通体系であること
- ④ 継続的に現状評価を行うこと

(2)計画区域

計画区域は、本巣市全域とする。

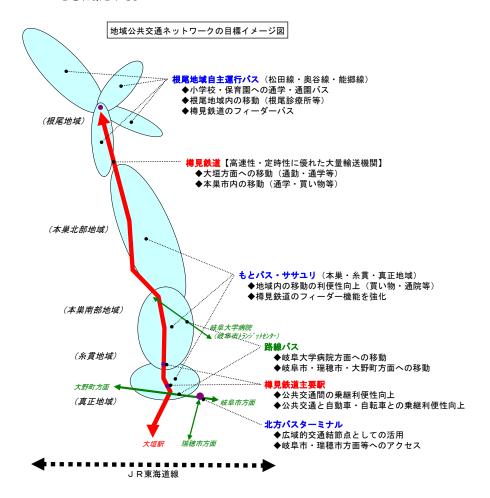
(3)課題への対応方針

地域公共交通の地域別及び全般の課題については、次の対応を図っていくものとする。

	課題	対応方針
	樽見鉄道と根尾地域自主運行バスの接続	ダイヤ調整 (事業者と協議)
1 H	昼間時の運行効率化	昼間時デマンド型運行
根尾		予約に応じた車両(タクシー車両)
, .	小学校の長期休暇等への対応	長期休暇等に応じた運行
		(学校及び事業者と協議)
+	樽見鉄道とササユリの接続	ダイヤ調整
本巣	ササユリ北部線の停留所間隔	フリー乗降制の導入
//	ササユリ南部線のトミダヤへの利便性	ダイヤ調整
糸	もとバスのルート	路線再編
貫		(西・東コース→糸貫線・真正線)
•	もとバスの停留所間隔	停留所の新設・改廃
真正	JR穂積駅へのアクセス	路線の検証(事業者と協議)
11.		樽見鉄道との接続
	利用者の減少	利便性向上
		利用促進PR
全	運行の効率化	運行方法の見直し
般		運行事業者との契約方法の見直し
	他モードとの連携	P&R用駐車場の確保
		C&R用駐輪場の拡大

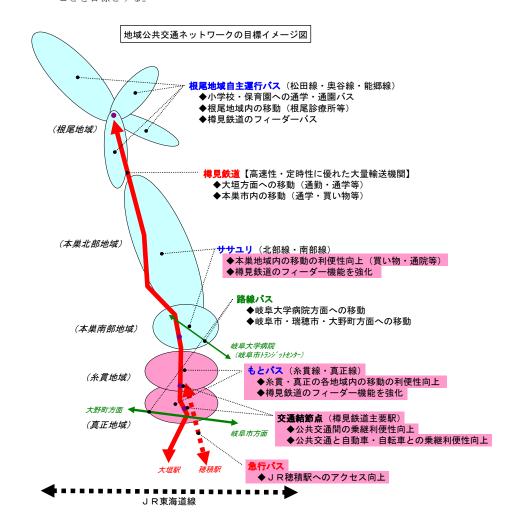
(4) 目標

鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に連携させた公共交通ネットワークの構築を行うとともに、自動車、自転車など他の交通手段との連携を強化するためにモード間の結節を強化し、地域公共交通の活性化及び再生を図ることを目標とする。



(4)目標

鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に連携させた公共交通ネットワークの構築を行うとともに、自動車、自転車など他の交通手段との連携を強化するために交通結節点の整備を行い、地域公共交通の活性化及び再生を図ることを目標とする。



(5) 市営バスの利用料金に係る基本方針

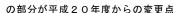
市営バスの利用料金は、市内全域における地域公共交通の料金格差の是正を図るため 統一化(無料化)を目指し段階的に取り組む。

【平成20年度】

L 1 /20	20-121		
地域	バス名称	料金体系	免除等の対象
根尾	根尾地域 自主運行バス	距離制運賃 120~550円	・3歳以下及び70歳以上は無料 ・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額
本巣	ササユリ	無料	
糸貫	もとバス	100円	・未就学児は無料
真正	02//	10011	・身体障害者等及びその付添者は無料

(※) 「身体障害者等」とは、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を所持している者を指す。

【平成21年度】



地域	バス名称	料金体系	免除等の対象			
根尾	根尾地域 自主運行バス	距離制運賃 120~550円	・3歳以下及び70歳以上は無料 ・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額			
本巣	ササユリ	無料				
糸貫		_	・70歳以上は無料			
真正	もとバス	100円	・未就学児は無料・身体障害者等及びその付添者は無料			

【平成22年度】

の部分が平成21年度からの変更点

地域	バス名称	料金体系	免除等の対象
根尾	根尾地域 自主運行バス	距離制運賃 120~550円	・3歳以下及び70歳以上は無料 ・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額
本巣	ササユリ	無料	
糸貫	,,-,	200 (T-1	
真正	もとバス	無料	

【平成23年度以降】

の部分が平成22年度からの変更点

地域	バス名称	料金体系	免除等の対象				
根尾	根尾地域 自主運行バス	無料					
本巣	ササユリ	無料					
糸貫	,,-,	AW T-1					
真正	もとバス	無料					

(5) 市営バスの利用料金に係る基本方針

現行の料金体系を踏襲する。

ただし、70歳以上の高齢者の利用料金について、市内全域において無料化する。

【現行】

地域	バス名称	料金体系	免除等の対象
根尾	根尾地域自主運行バス	距離制運賃 120~550円	・3歳以下及び70歳以上は無料・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額
本巣	ササユリ	無料	
不永			1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
糸貫	もとバス	100円	・未就学児は無料・身体障害者等及びその付添者は無料
真正			



【見直し後】

の部分が現行からの変更点

地域	バス名称	料金体系	免除等の対象		
根尾	根尾地域自主運行バス	距離制運賃 120~550円	・3歳以下及び70歳以上は無料・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額		
本巣	ササユリ	無料			
糸貫		_	・70歳以上は無料		
真正	もとバス	100円	・未就学児は無料・身体障害者等及びその付添者は無料		

(※) 「身体障害者等」とは、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を所持している者を指す。

(6) 具体的な目標値

限りある市財源をもって最小の経費で最大限の効果を得るためには、市民が利用しやすい地域公共交通ネットワークを構築し、利用者の増加を図ることが一番の方策であることから、次の①又は②いずれかの目標値を達成することを目指す。

市営バスに関する第一次目標値(平成20年度設定)

①利用者数

根尾地域・・・・・・・H19年度39,810人 → **H24年度 約 38,000人** (H19年度対比 増減率約▲5%)

本巣地域・・・・・・・H19年度10,940人 → **H24年度 約 11,000人** (H19年度対比 増減率約0.5%増)

真正地域及び糸貫地域・・・H19年度 7,373人 → **H24年度 約 26,000人** (H19年度対比 増減率約250%増)

(参考) 真正地域及び糸貫地域の目標値について

目標値である約26,000人は、真正及び糸貫地域の住民が年1回 乗車または65歳から85歳の高齢者が2ヶ月に1回乗車すれば達成 できる水準である。

②利用者一人あたりの市年間負担コスト 800円以下 ←-

なお、市営バス運行に係る経費が市全体で5,800万円(平成19年度実績)とした場合、 **目標値①**が達成されれば、同時に**目標値②**は達成されるものであること。

しかし、仮に市営バスの利用者が伸び悩み**目標値①**の達成が困難な場合は、利用者数に応じた適正運行となるよう、運行方法や事業者との契約方法などを見直し運行の効率化により、**目標値①**の達成に代えて経費面における**目標値②**の達成を目指すこととする。

(6) 具体的な目標値

限りある市財源をもって最小の経費で最大限の効果を得るためには、市民が利用しやすい地域公共交通ネットワークを構築し、利用者の増加を図ることが一番の方策であることから、次の①又は②いずれかの目標値を達成することを目指す。

市営バスに関する目標値

①利用者数

根尾地域・・・・・・・H19年度39,810人 → **H24年度 約 38,000人** (H19年度対比 増減率約▲5%)

本巣地域・・・・・・・・H19年度10,940人 → **H24年度 約 11,000人** (H19年度対比 増減率約0.5%増)

真正地域及び糸貫地域・・・H19年度 7,373人 → **H24年度 約 26,000人** (H19年度対比 増減率約250%増)

(参考) 真正地域及び糸貫地域の目標値について

目標値である約26,000人は、真正及び糸貫地域の住民が年1回 乗車または65歳から85歳の高齢者が2ヶ月に1回乗車すれば達成 できる水準である。

②利用者一人あたりの市年間負担コスト 800円以下 ←-

(参考)根尾地域 (根尾自主運行バス)約 570円/人H19年度実績本巣地域 (ササユリ)約 480円/人本巣・真正・糸貫地域 (もとバス) 約4,090円/人

市全体平均 約 997円/人 --

なお、市営バス運行に係る経費が市全体で5,800万円(平成19年度実績)とした場合、 **目標値①**が達成されれば、同時に**目標値②**は達成されるものであること。

しかし、仮に市営バスの利用者が伸び悩み**目標値①**の達成が困難な場合は、利用者数に応じた適正運行となるよう、運行方法や事業者との契約方法などを見直し運行の効率化により、**目標値①**の達成に代えて経費面における**目標値②**の達成を目指すこととする。

(7) 平成21年度の実証実験の結果

市営パスに関する第一次目標値達成状況(平成21年度)

①利用者数

根尾地域・・・・・・・H21年度 30,900人 → H24年度 約 38,000人

(目標値達成率81%)

本巣地域・・・・・・・H21年度 11,300人 → H24年度 約 11,000人

(目標値達成率103%)

真正地域及び糸貫地域・・H21年度 15,900人 → H24年度 約 26,000人

(目標値達成率61%)

②利用者一人あたりの市年間負担コスト 800円以下

H21年度見込 根尾地域(根尾自主運行バス) 約 730円/人

#J /00|1//

本巣地域(ササユリ) 約 483円/人

本巣・真正・糸貫地域(もとバス)約1,705円/人

市全体平均

約 949円/人

(8) 目標値の見直し(平成22年度以降)

平成21年度時点での目標値達成状況をみると、**目標値**① (利用者数) については、 根尾地域自主運行バスは根尾小学校の児童数減少に伴い利用者数の減少が進んでいること、また、もとバスの利用者数は倍増しているものの、現時点において目標値の約6割 程度であることから、**目標値**①の達成は今後も厳しい状況となっている。

そこで当面は、費用対効果としての**目標値②** (利用者一人あたりの市年間負担コスト)の達成を目指すこととする。そのためには、経費削減だけでなく、利便性向上や利用促進の取り組みを試行しながら、新たな需要喚起とともに市民の公共交通を育てる意識の醸成を図っていく必要がある。

これに伴い、費用対効果の**目標値②**を平成24年度にタクシー初乗り料金水準である600円/人まで改善することに改め、これをメルクマールとして、この範囲内で路線延長や増便などの新たな投資ができるようなコストパフォーマンスの向上を目指すこととする。

市営バスに関する第二次目標値

利用者一人あたりの市年間負担コスト

	H19年度	H20年度	H21年度	H24年度
	実績	実績	見込	目標
根尾自主運行バス	568円/人	624円/人	730円/人	
ササユリ	475円/人	497円/人	483円/人	
もとバス	4,096円/人	3,545円/人	1,705円/人	
市全体	998円/人	1,035円/人	949円/人	600円/人

(9) 具体的事業と実施主体(平成22年度以降)

- 1) 根尾地域自主運行バス
- ①料金格差の是正 (実施主体:本巣市,平成23年度以降実証実験)

市全域における市バス料金の統一を視野に完全無料化などについて検証し、料金格差の是正を図る。

【現状の料金体系】

- 対距離制料金(120円~550円)
- ・3歳以下及び70歳以上は無料
- ・4歳以上の幼児、児童及び身体障害者等は半額

②運行の効率化(実施主体:本巣市,平成23年度以降実証実験)

次の事項に配慮しながら、利用の少ない便の見直しや運行形態等の見直しについて検 証し、運行の効率化を図る。

- 樽見鉄道との結節
- ・根尾診療所への通院手段の確保(往復の確保,診療時間の考慮)
- ・スクールバス機能の確保
- 安全性の確保

【現状の運行形態】

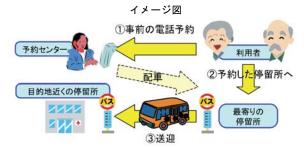
·道路運送法第79条許可

(7) 具体的事業と実施主体

- 1) 根尾地域自主運行バス
- ①昼間時デマンド型運行(実施主体:本巣市,平成22年度以降実証実験)

山間地に散在する住民の移動ニーズに柔軟に対応しかつ運行の効率化を図るため、昼間時においては予約に応じたデマンド型運行の実証実験を行う。

- ・電話予約による事前予約制
- ・運行距離が短く利用者が少ない一部の便についてデマンド運行
- ・車両は、需要に応じて変更(少ない場合はタクシー車両を使用)
- ・運賃は、通常と同じ



現行				改正				
時刻	松田線	奥谷線	能郷線	時刻	松田線	奥谷線	能郷線	
7				7				
8				8				
9				9				
10				10				
11				11				
12				12				1
13				13	予約がる	ある場合の	み運行	デマンド運行 を一部導入
14				14				2 邮等人
15				15				
16				16				
17				17				
18				18				

2) ササユリ (行政福祉バス)

①路線再編(実施主体:本巣市,平成22年度~平成23年度実証実験)

現在の需要を考慮しつつ、一層の利用促進を図るため、ルート・ダイヤの見直しを行う。なお、見直しにあたっては、特に以下の事項に配慮する。

- ・現在の移動利便性の確保 (現在の需要の維持)
- もとバスとの結節
- ・ 樽見鉄道との結節
- ・経由施設の営業時間
- ・アクセス可能な商業施設の増加

②フリー乗降可能区間の拡大(実施主体:本巣市,平成22年度~平成23年度実証実験)

フリー乗降制については、平成21年度の実証実験の結果、利用者の安全性については特に問題ないことが確認できた。そこで、さらなる利便性向上を図るためフリー乗降可能区間の拡大を行う。

2) ササユリ (行政福祉バス)

①ダイヤの見直し(実施主体:本巣市,平成21年度実施)

現在の需要を考慮し、団地-スーパー間の利便性を向上させるとともに、樽見鉄道(本巣駅)との結節強化するためのダイヤ見直しを行う。

- ・団地-スーパー間の往復利用可能便数を3往復→4往復
- ・わかりやすいヘッドダイヤ

宝珠ハイツ電鉄家

ササユリ南部線

②フリー乗降制の導入(実施主体:本巣市、平成21年度実証実験)

利便性向上を図るため、運行ルートの一部区間(北部線=国道以外の区間,南部線= 宝珠ハイツ内)において停留所以外でも乗降可能なフリー乗降制の実証実験を行う。

- ・乗車するときは、手を上げるなど運転手にわかるように合図
- ・降車するときは、事前に運転手に降車位置を伝える

3) もとバス

①市直営化 [運行形態の見直し] (実施主体:本巣市,平成22年度実証実験)

コスト縮減を図るため、民間事業者への運行委託を市直営の運行へ切り替え、市全体 の運行形態の統一を行う。

【現状の運行形態】

·道路運送法第4条許可

②料金の統一化[無料化] (実施主体:本巣市,平成22年度実証実験)

高齢者の外出をサポートしながら一層の利用促進を図るとともに、地域間における料金格差の是正を図るため、もとバスの利用料金を完全無料化する。

【現状の料金体系】

- · 1 乗車100円
- ・70歳以上、未就学児、身体障害者及びその付添者は無料

③路線再編 (実施主体:本巣市,平成22年度~平成23年度実証実験)

住民の日常生活行動を考慮しつつ、これまでの利用実態も踏まえて、次の事項に配慮 したルート・ダイヤの見直しを行う。

- ・ササユリ南部線との結節
- 樽見鉄道との結節
- 経由施設の営業時間

【平成22年度】

◆糸貫線の廃止

平成21年6月からの実証実験の結果、利用者が少なく費用対効果が認められないことから糸貫線の運行を廃止する。

◆ササユリ南部線の拡大

糸貫線の廃止に伴い、ササユリ南部線を糸貫地域の一部へ拡大することにより、 代替輸送手段を確保する。

◆北方バスターミナルへの乗り入れの検討

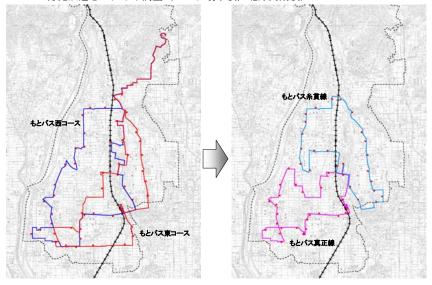
北方バスターミナルの開設(平成22年4月開設)や路線バスの再編を踏まえ、 もとバスの北方バスターミナルへの乗り入れを検討する。

3) もとバス

(1)路線再編(実施主体:本巣市及び交通事業者,平成21年度実証実験)

住民の日常生活行動を考慮し、各地域内施設への移動の利便性向上を図るため、新たな路線での実証実験を行う。

- ・西コース・東コース→糸貫線・真正線
- ・停留所をきめ細かく設置
- ・ 樽見鉄道とのダイヤ調整 (モレラ岐阜駅、北方真桑駅)



②デマンド方式の導入(実施主体:本巣市及び交通事業者,平成22年度以降実証実験)

①の実証実験の結果、新たな路線の利用者が依然として少ない場合には、デマンド型 乗合タクシー方式に変更し実証実験を行う。

- ・予約のある停留所のみを効率的に巡回し目的地までの速達性を向上
- ・定められたダイヤに従う「ダイヤ固定型」を採用
- ・必要に応じて停留所を新設

③高齢者無料制度の導入(実施主体:本巣市、平成21年度実施)

「70歳以上無料」制度を導入し、高齢者の外出をサポートしながら利用促進を図る。

④ 樽見鉄道との乗継無料制度の導入 (実施主体:本巣市,平成21年度実施)

樽見鉄道及びもとバスの双方の利用促進を図るため、樽見鉄道利用者については、もとバス料金無料制度を導入する。

- ・もとバス乗継券を配布(もとバス利用希望者のみ)
- ・ 樽見鉄道定期券を提示すれば、もとバス無料乗車可

4) 樽見鉄道関連事業

① 博見鉄道エコ切符の発行 (実施主体: 樽見鉄道, 平成22年度以降も継続)

ノーマイカーデーを定めて自家用車の利用を自粛するなど、地球温暖化防止の観点から CO_2 排出量削減に取り組む樽見鉄道沿線の事業所に対して、割引エコ切符を発行し、鉄道をはじめとする公共交通機関の相乗的な利用促進につなげる。

②商業施設駐車場を活用したP&R(実施主体:商業施設,平成22年度以降実施)

樽見鉄道の利用促進を図るため、駅周辺商業施設駐車場をP&R用駐車場として活用する。

③C&R用駐輪場の整備(実施主体:本巣市,平成23年度以降実施)

樽見鉄道の主要駅であるモレラ岐阜駅等において、樽見鉄道の利用促進を図るため駐 輪場の拡大を行う。





4) 樽見鉄道関連事業

① 博見鉄道エコ切符の発行 (実施主体: 樽見鉄道, 平成21年度実施)

ノーマイカーデーを定めて自家用車の利用を自粛するなど、地球温暖化防止の観点から CO₂排出量削減に取り組む樽見鉄道沿線の事業所に対して、割引エコ切符を発行し、 鉄道をはじめとする公共交通機関の相乗的な利用促進につなげる。

②商業施設駐車場を活用したP&R (実施主体:商業施設,平成22年度実施)

駅周辺商業施設駐車場をP&R用駐車場として活用し、樽見鉄道の利用促進を図る。 なお、駐車場位置や利用料金等の実施計画については、平成21年度に検討を行う。

③C&R用駐輪場の整備(実施主体:協議会,平成22年度実施)

樽見鉄道及びもとバスの結節点となる北方真桑駅やモレラ岐阜駅等においては、樽見 鉄道及びもとバスの利用促進を図るため駐輪場の拡大を行う。

北方真桑駅駐輪場

モレラ岐阜駅駐輪場





5) 地域公共交通全般

①バリアフリー対応車両の導入(実施主体:本巣市,平成23年度以降実施)

新規車両を導入する場合は、地域の道路特性を考慮し、高齢者の利便性・安全性の向 上するため、バリアフリー対応車両を導入する。

小型低床バスの例(日野ポンチョ)



5)地域公共交通全般

①小型低床バスの導入(実施主体:本巣市,平成22年度実施)

新規車両を導入する場合は、高齢者の利便性・安全性の向上するため、小型低床バス を導入する。

小型低床バスの例(日野ポンチョ)



②広域的交通結節点への接続(実施主体:本巣市,平成23年度以降実証実験)

平成22年4月に開設される北方バスターミナルの運用状況を見極めた上で、広域的交通結節点としての有効活用が見込まれる場合は、多方面への移動の利便性向上を図るため、関係機関の了解を得てもとバス真正線を北方バスターミナルへ乗り入れる。

・岐阜バス各路線との結節(多方面へのアクセス向上)

行き先・経由地: J R 岐阜駅, 名鉄岐阜駅, 忠節, 岐阜市民病院, J R 穂積駅 大野バスセンター等

北方バスターミナル予定位置



② JR穂積駅行き急行バスの検証(実施主体:本巣市及び交通事業者,平成22年度実証実験)

模見鉄道及びJR利用者の利便性向上を図るため、JR穂積駅への急行バス運行の実証実験を行う。

- ・起終点は、モレラ岐阜駅または北方真桑駅
- 樽見鉄道の料金体系を踏襲
- ・ 樽見鉄道に合わせたダイヤ (時間的なシームレス化)
- もとバスとの接続も考慮



③広域的交通結節点の整備(実施主体:協議会,平成23年度実施)

模見鉄道、路線バス、市営バスといった公共交通間の結節、他モード(自動車・自転車)との結節を強化するため、広域的交通結節点(トランジットセンター)を整備する。

- ・樽見鉄道駅と市営バス停留所の近接化
- ・P&R駐車場、送迎車両一時停車スペース、C&R駐輪場の整備
- ・NPOなど関係機関との協働によるバリアフリー化

鉄軌道駅とバス停留所の近接化の例(富山LRT)





6) その他利用促進策

①公共交通に関する情報提供(実施主体:協議会,平成22年度以降も継続)

本巣市内の公共交通の利用促進を図るため、各公共交通のルート・ダイヤの変更や新たなサービス等に関する情報については、ガイドブック等により提供していく。

【平成21年度実施済み】

◆公共交通再編に関する広報・PR

もとバスの路線再編や新たな料金制度、ササユリのダイヤ改正やフリー乗降制度 等に関するPRポスターを作成し、樽見鉄道駅や公共施設など市内各所に掲示した。 また、ポスター掲載事項と同じ内容のチラシを作成し、全戸に配布した。

◆本巣市公共交通ガイドブックの作成・配布

公共交通の利用促進を図るため、本巣市内の公共交通の路線図、時刻表、運賃、 乗継案内(市営バスー樽見鉄道・路線バス)等をまとめた「本巣市公共交通ガイド ブック」を作成し、全戸に配布した。

◆もとバスチラシの作成・配布

もとバスの利用促進を図るため、もとバスのルート図、時刻表、樽見鉄道との乗継案内等をまとめた「もとバスチラシ」を作成し、新聞折込にて糸貫・真正地域の住民に配布した。

【平成22年度以降】

◆本巣市公共交通ガイドブックの作成・配布

公共交通の利用促進を図るため、「本巣市公共交通ガイドブック」の改訂版を作成し、全戸に配布する。

②ワークショップ・体験学習の実施(実施主体:協議会,平成22年度以降も継続)

地域住民によるワークショップ、高校生以下を対象にした体験学習等を実施し、市民一人ひとりが公共交通について考える機会を提供する。

【平成21年度実施済み】

◆もとバスモニター会議

もとバスの路線再編に関する問題点や今後の改善に向けたアイデア等の意見収集 を行うため、もとバス利用者モニター(公募)によるワークショップを開催した。

◆樽見鉄道の体験学習

次代を担う子ども達に公共交通機関に親しんでもらうため、園児を対象に樽見鉄 道の乗車体験学習を実施した。

地域住民によるワークショップ





第1回「本巣市の地域公共交通を考える」ワークショップ(H20.11.12開催)

6) その他利用促進策

①本巣市公共交通ガイドブックの作成 (実施主体:協議会,平成21年度~平成23年度実施)

本巣市内の公共交通の路線図、時刻表、運賃、乗継案内(市営バスー樽見鉄道・路線バス)等をまとめた「本巣市公共交通ガイドブック」を作成し、公共交通の利用促進を図る。

②イベント・ワークショップ・総合学習の実施 (実施主体:協議会,平成21年度~平成23年度実施)

公共交通をテーマにしたイベントの開催、地域住民によるワークショップ、小中学生を対象にした総合学習等を実施し、市民一人ひとりが公共交通の良さ・役割・必要性を学ぶとともに、自らが公共交通を利用し守り育てる意識の醸成を行う。

- ・バスの目 (9/20) や鉄道の目 (10/14) のイベント開催
- 学祭とのタイアップ

地域住民によるワークショップ





第1回「本巣市の地域公共交通を考える」ワークショップ(H20.11.12開催)

7. 事業の展開

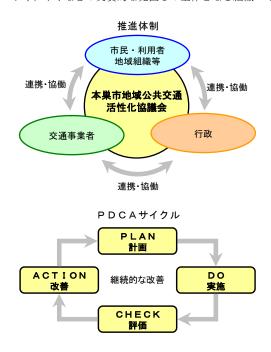
(1)推進体制

持続可能な地域公共交通を確立していくためには、各交通事業者や行政だけでなく、 市民や利用者、地域組織と恊働していくことが必要である。

また、各種事業や施策を着実に実施し、目標を達成するためには、PDCAサイクルを活用し、市民、交通事業者、市をはじめとする行政の協働した推進体制を確立することも必要である。

来年度以降の事業計画、事業の実施及びその評価については、本巣市地域公共交通活性化協議会を中心に行っていく。

なお、市営バスについては、利用者や地域住民がより自分たちの使い勝手の良いものにしていくために、地域組織を立ち上げ、そこでルートやダイヤなどの具体的なサービスの改善について協議していく。この地域組織が単に要望を出すためだけの組織にとどまらず、ルートやダイヤなどの実質的な見直しの主体となる組織づくりを目指していく。



(2)計画期間

計画期間は、平成21年度~平成23年度の3年間とする。各事業については、計画 期間内の各年度に事業評価を行い、事業の見直しや改善を図りながら平成24年度から の本格導入・運行を目指す。

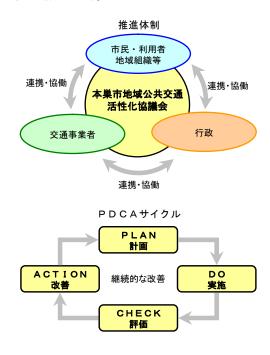
7. 事業の展開

(1)推進体制

持続可能な地域公共交通を確立していくためには、各交通事業者や行政だけでなく、 市民や利用者、地域組織と協働していくことが必要である。

また、各種事業や施策を着実に実施し、目標を達成するためには、PDCAサイクルを活用し、市民、交通事業者、市をはじめとする行政の協働した推進体制を確立することも必要である。

来年度以降の事業計画、事業の実施及びその評価については、本巣市地域公共交通活性化協議会を中心に行っていく。

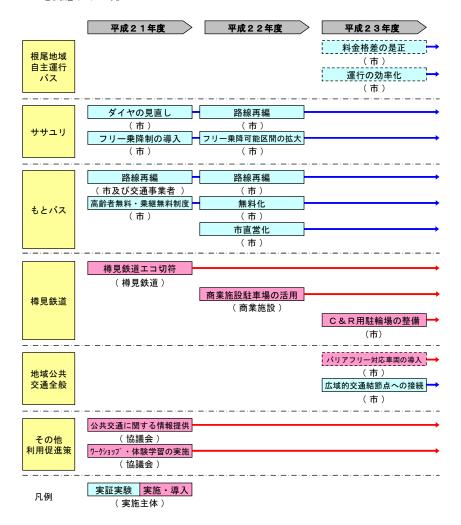


(2)計画期間

計画期間は、平成21年度~平成23年度の3年間とする。各事業については、計画期間内の各年度に事業評価を行い、事業の見直しや改善を図りながら平成24年度からの本格導入・運行を目指す。

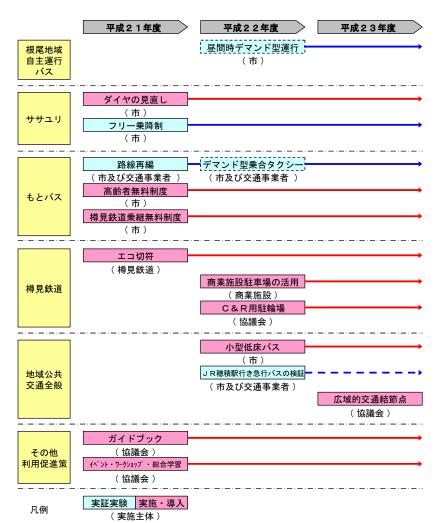
(3) 実施スケジュール

平成22年度~平成23年度の2年間については、以下のスケジュールに基づき事業を実施していく。



(3) 実施スケジュール

平成21年度~平成23年度の3年間については、以下のスケジュールに基づき事業を実施していく。



資料5 本巣市地域公共交通活性化・再生総合事業計画変更に関する新旧対照表 改正案 現行 1及び2略 1及び2略 3. 総合事業計画の全体事業計画 3. 総合事業計画の全体事業計画 (1) 全体事業計画の目標 (1) 全体事業計画の目標 (基本方針) (基本方針) ①市民にとってわかりやすい公共交通体系であること ①市民にとってわかりやすい公共交通体系であること ②最小限の経費で最大限の効果が得られるよう公共交通施策を講じること ②最小限の経費で最大限の効果が得られるよう公共交通施策を講じること ③市全体の均衡を図りつつ、地域の特性に配慮した公共交通であること ③市全体の均衡を図りつつ、地域の特性に配慮した公共交通であること ④継続的に現状評価を行うこと ④継続的に現状評価を行うこと (目標) (目標) 鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に 鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に

鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に 連携させた公共交通ネットワークの構築を行うとともに、自動車、自転車な ど他の交通手段との連携を強化するために交通結節点の整備を行い、地域公 共交通の活性化及び再生を図ることを目標とする。

【具体的な目標値】

①利用者数(対 H19 年度対比)

根尾地域・・・・約5%減, 本巣地域・・・・約0.5%増, 真正地域及び糸貫地域・・・・約250%増

②利用者一人あたりの市年間負担コスト 997円 (H19年度実績) \rightarrow 80

0円以下(第一次目標値)→600円以下(第二次目標値)

(評価事項)

・公共交通利用者数の増加(樽見鉄道, 市営バス)

鉄道・路線バス・市営バスの既存ストックを活かしつつ、それらを有機的に 連携させた公共交通ネットワークの構築を行うとともに、自動車、自転車な ど他の交通手段との連携を強化するために交通結節点の整備を行い、地域公 共交通の活性化及び再生を図ることを目標とする。

【具体的な目標値】

①利用者数(対 H19 年度対比)

根尾地域・・・・約5%減,本巣地域・・・・約0.5%増,真正地域及び糸貫地域・・・・約250%増

②利用者一人あたりの市年間負担コスト 997円 (H19年度実績) →<u>80</u>

0 円以下

(評価事項)

・公共交通利用者数の増加(樽見鉄道, 市営バス)

- ・公共交通間及び他モードとの乗継利用者数の増加(交通結節点利用者数の増加)
- ・利用頻度の増加(外出機会の増加)
- 利用者満足度の向上
- ・利用者一人あたり市年間負担コストの減少
- ・地域特性に応じた公共交通の再構築(デマンド型運行等)
- ・住民の移動ニーズにあった新たな公共交通の構築 (JR穂積駅への急行バス及び北方バスターミナルへの乗り入れの検討)

- ・公共交通間及び他モードとの乗継利用者数の増加(交通結節点利用者数の増加)
- ・利用頻度の増加(外出機会の増加)
- ・利用者満足度の向上
- ・利用者一人あたり市年間負担コストの減少
- ・地域特性に応じた公共交通の再構築(デマンド型運行等)
- ・住民の移動ニーズにあった新たな公共交通の構築 (JR穂積駅への急行バス)

(2)全体事業計画の事業スケジュール				(2) 全体重要	共画の車業フケジ	II.		
				(2)全体事業計画の事業スケジュール 以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印(←→)、または横棒線(—				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (━			_	以下項目別に根	 既ねの看手・実施期	間を矢印(←→)、3	または横棒線(一	
)で記載。)で記載。			
	平成21年度	平成22年度	平成23年原	复		平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業の名称	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3	月	事業の名称	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3月
根尾地域自主運行り	ベス				根尾地域自主運行り	ベス		
昼間時デマンド型	調査・検証				昼間時デマンド型		<u>実証実験開始</u>	
運行	<u></u>				運行			
~1.	準備				~=13	準備	調査・検証	
料金格差の是正・		調査・検証	<u>実証実験</u>					
運行の効率化								
ササユリ					ササユリ			
ダイヤ <u>・ルート</u> の		ドノレ カッド。 1 14 m			ダイヤの見			
見直し	ダイヤ改正	ダイヤ及びルート改正			直し	ダイヤ改正		
	準備 調査・検証	準備 調査・検証				準備 調査・検証		

フリー乗降制の導	制度運用開始	<u>拡充</u>		フリー乗降制の導	制度運用開始		
入 <u>及び拡充</u>	準備調査・検証			入	準備調査・検証		
もとバス				もとバス			
もとバス路線 <u>及び</u> <u>運行形態の</u> 再編	実証実験開始	実証実験開始		もとバス路線 再編	実証実験開始		
<u>连门//2/85~2</u> 行/栅	準備調査・検証	準備 調査・検証		T J // /III	準備 調査・検証		
高齢者無料制度の 導入	制度運用開始			高齢者無料制度の 導入	制度運用開始		
乗継無料制度の導 入(樽見鉄道,も	制度運用開始			乗継無料制度の導 入(樽見鉄道,も	制度運用開始		
とバス間)				とバス間)			
無料お試し期間	1ヶ月			無料お試し期間	1ヶ月		
樽見鉄道				樽見鉄道			
樽見鉄道エコ切符	H21.3~開始			樽見鉄道エコ切符	H21.3~開始		
の発行				の発行			
地域公共交通全般				地域公共交通全般			
バリアフリー対応			導入	小型低床バス		<u>導入</u>	_
車輌の導入				の導入			
JR穂積駅行き急				JR穂積駅行き急		C++=+ C++ EA HH / /	
行バスの検証	実施計画・準備			行バスの検証	実施計画・準備	<u>実証実験開始</u>	
	調査・検証					調査・検証	
広域的交通結節点		<u>準備</u>	実証実験開始	広域的交通結節点			利用開始
<u>への接続</u>		調査・検証		の整備	<u>候補地選定</u>	<u>実施設計</u>	

C&R用駐輪場の 整備	実施設計		利用開始
			整備
商業施設駐車場を		利用開始	
活用したP&R	実施計画・関係機関との 協議		
その他の利用促進第	É		
公共交通ガイド	配布	配布	配布
ブックの作成	作成・印刷	改定・印刷	改定·印刷
ワークショップ・ <mark>体験</mark> 学習等の実施	ワークショップ2回/年 <mark>総合</mark> 学習1回/年	ワークショップ 2 回/年 体験学習 1 回/年	ワークショップ2回/年 <u>体験</u> 学習1回/年
	準備		
PR	ポスター	ポスター	ポスター
	作成・印刷	作成・印刷	チラシ 作成・印刷

C&R用駐輪場の 整備	実施設計	利用開始	
11.7/14		整備	
商業施設駐車場を		利用開始	
活用したP&R	実施計画・関係機関との 協議		
その他の利用促進	策		
公共交通ガイド	配布	配布	配布
ブックの作成	作成・印刷	改定・印刷	改定·印刷
ワークショップ・ <mark>総合</mark> 学習等の実施	ワークショップ2回/年 <mark>総合</mark> 学習1回/年	ワークショップ 2 回/年 総合学習 1 回/年	ワークショップ2回/年 <mark>総合</mark> 学習1回/年
	準備	準備	準備
PR	ポスター チラシ	ポスター チラシ	ポスターチラシ
	作成・印刷	作成・印刷	作成・印刷

(3)全体事業計画の事業費等 総事業費 地域の負担 国費 事業の名称 (見込み) (見込み) (見込み) 根尾地域自主運行バス 料金格差の是正・ 運行の効率化 12,000千円 0 千円 12,000千円 小計 12,000千円 0千円 12,000千円

(3)全体事業計画の事業費等					
	総事業費	国費	地域の負担		
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)		
根尾地域自主運行り	ヾス				
昼間時デマンド型					
<u>運行</u>	3,000千円	1,500千円	1,500千円		
小計	3,000千円	1,500千円	1,500千円		

もとバス					
もとバス路線 <mark>及び</mark>					
運行形態の再編	28, 314千円	8,471千円	19,843千円		
高齢者無料制度の					
導入	804千円	0千円	804千円		
乗継無料制度の導					
入	536千円	0千円	536千円		
無料お試し期間					
	300千円	0千円	300千円		
小計					
	29,954千円	8,471千円	21,483千円		
地域公共交通全般					
バリアフリー対応					
車輌の導入	18,500千円	0千円	18,500千円		
JR穂積駅行き急					
行バスの検証					
広域的交通結節点					
<u>への接続</u>	<u>0 千円</u>	<u>0千円</u>	<u>0千円</u>		
C&R用駐輪場の					
整備	3,000千円	0千円	3,000千円		
小計					
	21,500千円	0千円	21,500千円		
その他の利用促進策					
公共交通ネット					
ワーク再編に係る	8,925千円	3,006千円	5,919千円		
利用促進等支援業 務					
177					

もとバス				
もとバス路線				
再編	76,801千円	38,400千円	38,401千円	
高齢者無料制度の				
導入	2,412千円	1,206千円	1,206千円	
乗継無料制度の導				
入	1,608千円	804千円	804千円	
無料お試し期間				
	300千円	<u>150千円</u>	150千円	
小計				
	81,121千円	40,560千円	40,561千円	
地域公共交通全般				
小型低床バス				
の導入	18,500千円	9,250千円	9,250千円	
JR穂積駅行き急				
行バスの検証	25,000千円	12,500千円	12,500千円	
広域的交通結節点				
の整備	5,000千円	2, 500千円	2, 500千円	
C&R用駐輪場の				
整備	3,000千円	1,500千円	1,500千円	
小計				
	51,500千円	25,750千円	25,750千円	
その他の利用促進策				
公共交通ネット				
ワーク再編に係る	26,925千円	13,462千円	13,463千円	
利用促進等支援業務				
427				

<u>公共交通ガイド</u> <u>ブックの作成</u>	1,060千円	0千円	1,060千円
小計	9,985千円	3,006千円	6,979千円
合計	73,439千円	11,477千円	61,962千円

小計			
	26,925千円	13,462千円	13,463千円
合計	162,546千円	81,272千円	81,274千円

4. 総合事	ない はまま はまま はまま はっこう はっこう はんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅう	各年度事	工業計画
--------	--	------	-------------

4-1. 初年度(平成21年度)事業計画

(1) 事業計画の概要(目標)等

事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
根尾地域自主運行バ	ス		
昼間時デマンド型運行	山間地に散在する住民 の移動ニーズに柔軟に 対応しかつ運行の効率 化を図るため昼間時デ マンド型運行の実証実 験の事前準備(アン ケート調査等)を行う。	本巣市	※便ごとのバス 停間利用者数 の把握※利用者や地域 住民からの意 見聴取
ササユリ			
ダイヤの見直し	樽見鉄道との乗継利便 性や地域内の買い物施 設や病院などへの移動 の利便性向上を図るた めダイヤの見直しを行 う。	本巣市	・利用者数の増加・利用頻度の増加・利用者満足度の向上・利用者1人あたり市年間負担
フリー乗降制の導 入	利便性向上を図るため 運行ルートの一部区間	本巣市	コストの削減

4. 総合事業計画の各年度事業計画

4-1. 初年度(平成21年度)事業計画

(4) 事業計画の概要(目標)等

事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項				
根尾地域自主運行バ	根尾地域自主運行バス						
昼間時デマンド型 運行	山間地に散在する住民 の移動ニーズに柔軟に 対応しかつ運行の効率 化を図るため昼間時デ マンド型運行の実証実 験の事前準備(アン ケート調査等)を行う。	本巣市	※便ごとのバス 停間利用者数 の把握※利用者や地域 住民からの意 見聴取				
ササユリ							
ダイヤの見直し	樽見鉄道との乗継利便 性や地域内の買い物施 設や病院などへの移動 の利便性向上を図るた めダイヤの見直しを行 う。	本巣市	・利用者数の増加・利用頻度の増加・利用者満足度の向上・利用者1人あたり市年間負担				
フリー乗降制の導入	利便性向上を図るため 運行ルートの一部区間	本巣市	コストの削減				

	(団地内等) において				(団地内等) において			
	フリー乗降制を導入す				フリー乗降制を導入す			
	る。				る。			
もとバス				もとバス				
もとバス路線再編	住民の日常生活行動を	本巣市	・利用者数の増加	もとバス路線再編	住民の日常生活行動を	本巣市	・利用者数の増加	
	考慮し、各地域内施設	岐阜バス	・利用頻度の増加		考慮し、各地域内施設	岐阜バス	・利用頻度の増加	
	への移動の利便性向上		・利用者満足度の		への移動の利便性向上		・利用者満足度の	
	を図るために路線再編		向上		を図るために路線再編		向上	
	を行う。	1.324	・利用者1人あた		を行う。	1.324 -1-	・利用者1人あたり	
高齢者無料制度の	高齢者の外出をサポー	本巣市	り市年間負担	高齢者無料制度の	高齢者の外出をサポー	本巣市	り市年間負担	
導入	トしながら利用促進を	岐阜バス	コストの削減	導入	トしながら利用促進を		コストの削減	
	図るため70歳以上無料				図るため70歳以上無料			
乗処無以出在の道	制度を導入する。	★光井		乗姚無火出座の道	制度を導入する。	七	_	
乗継無料制度の導 入	樽見鉄道及びもとバス の双方の利用促進を図	本巣市 岐阜バス		乗継無料制度の導	樽見鉄道及びもとバス の双方の利用促進を図	本巣市		
人	るため乗継無料制度を	<u> </u>		入	るため乗継無料制度を			
	導入する。				導入する。			
無料お試し期間	ルート・ダイヤともに	本巣市		無料お試し期間	ルート・ダイヤともに	本巣市	_	
	リニューアルされたも	検阜バス		- 12 42 by (C 2911b)	リニューアルされたも	本来 印		
	とバスのPRを行うた	<u>FX</u> +			とバスのPRを行うた			
	め実証運行開始後1ヶ				め実証運行開始後1ヶ			
	月間無料お試し期間を				月間無料お試し期間を			
	設ける。				設ける。			
樽見鉄道					樽見鉄道			
樽見鉄道エコ切符	樽見鉄道沿線の事業所	樽見鉄道	利用者数の増加	樽見鉄道エコ切符	樽見鉄道沿線の事業所	樽見鉄道	・利用者数の増加	
の発行	に対して割引エコ切符			の発行	に対して割引エコ切符			
	を発行し鉄道をはじめ				を発行し鉄道をはじめ			
	とする公共交通機関の				とする公共交通機関の			
	相乗的な利用促進につ				相乗的な利用促進につ			
	なげる。				なげる。			
地域公共交通全般				地域公共交通全般				
JR穂積駅行き急	JR穂積駅への急行	本巣市	※交通事業者と	JR穂積駅行き急	JR穂積駅への急行	本巣市	※交通事業者と	

行バスの検証	バス運行の実証実験	交通事業者	の協議	行バスの検証	バス運行の実証実験	交通事業者	の協議	
	に向けた				に向けた <u>実施計画の</u>			
	準備等を行				作成、運行準備等を行			
	う。				う。			
広域的交通結節点	広域的交通結節点の	協議会	※関係機関との	広域的交通結節点	広域的交通結節点の	協議会	※関係機関との	
<u>への接続</u>	整備に向けた候補地		協議	の整備	整備に向けた候補地		協議	
	選定及び <u>接続を検討</u>				選定及び整備イメー			
	<u>する。</u>				<u>ジ図を作成する。</u>			
商業施設駐車場を	駅周辺商業施設駐車	商業施設	※駐車場規模·位	商業施設駐車場を	駅周辺商業施設駐車	商業施設	※駐車場規模·位	
活用したP&R	場をP&R用駐車場		置及び利用料	活用したP&R	場をP&R用駐車場		置及び利用料	
	として活用するため		金等について		として活用するため		金等について	
	<u>の検討を行う。</u>		関係機関との		位置や利用料金等の		関係機関との	
			協議		実施計画を作成する。		協議	
C&R用駐輪場の	樽見鉄道及びもとバ	協議会	※駐輪場規模·位	C&R用駐輪場の	樽見鉄道及びもとバ	協議会	※駐輪場規模·位	
整備	スの利用促進を図る		置等について	整備	スの利用促進を図る		置等について	
	ためC&R用駐輪場		関係機関との		ためC&R用駐輪場		関係機関との	
	の実施設計を行う。		協議		の実施設計を行う。		協議	
その他の利用促進策				その他の利用促進策				
公共交通ガイド	公共交通の利用促進	協議会	・公共交通利用者	公共交通ガイド	公共交通の利用促進	協議会	·公共交通利用者	
ブックの作成	を図るため市内の公		数の増加	ブックの作成	を図るため市内の公		数の増加	
	共交通の路線図、時刻				共交通の路線図、時刻			
	表、運賃、乗継案内等				表、運賃、乗継案内等			
	をまとめたガイド				をまとめたガイド			
	ブックを作成する。				ブックを作成する。			
ワークショップ・総	地域住民によるワー	協議会		ワークショップ・総	地域住民によるワー	協議会		
合学習等の実施	クショップ、 <u>高校生以</u>			合学習等の実施	クショップ、 <u>小中学生</u>			
	下を対象にした総合				等を対象にした総合			
	学習等を実施し、市民				学習等を実施し、市民			
	一人ひとりが公共交				一人ひとりが公共交			
	通の良さ・役割・必要				通の良さ・役割・必要			
	性を学ぶとともに自				性を学ぶとともに自			
	らが公共交通を利用				らが公共交通を利用			

	し守り育てる意識	0			し守り育てる意識	(0)		
	醸成を行う。	14 34 0		7.7	醸成を行う。	14-24-4		
PR	実証実験内容の周	******		PR	実証実験内容の周			
	知・PRを行うた				知・PRを行うた			
	スター・チラシを	作成			スター・チラシを	作成		
(-) - 	する。			/ - \ - \ \ - \ \ \ - \ \ \ \ \ - \	する。			
(2)事業費等				(2)事業費等				
	総事業費	国費	地域の負担		総事業費	国費	地域の負担	
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)	事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)	
もとバス				もとバス				
もとバス路線再編				もとバス路線再編				
	22,58 <u>8</u> 千円	<u>8,471</u> 千円	<u>14,117</u> 千円		22,58 <u>9</u> 千円	11,294千円	<u>11,295</u> 千円	
高齢者無料制度の				高齢者無料制度の				
導入	804千円	<u>0</u> 千円	804千円	導入	804千円	<u>402</u> 千円	<u>402</u> 千円	
乗継無料制度の導				乗継無料制度の導				
入	536千円	<u> </u>	<u>536</u> 千円	入	536千円	<u>268</u> 千円	<u>268</u> 千円	
無料お試し期間	0 0 0 7 11	0.7.11		無料お試し期間	0007		1 - 0 T H	
	300千円	<u>0</u> 千円	300千円		300千円	<u>150</u> 千円	<u>150</u> 千円	
その他の利用促進策				その他の利用促進策				
公共交通ネット				公共交通ネット				
ワーク再編に係る	8,925千円	<u>3,006</u> 千円	<u>5,919</u> 千円	ワーク再編に係る	8,925千円	4,462千円	4,463千円	
利用促進等支援業				利用促進等支援業				
務				務				
				<内容>				
・ガイドブック、チ				・ガイドブック、チ				
│ ラシ等制作 ・利用実態、利用者				ラシ等制作				
□・利用夫態、利用有□ アンケート調査				・利用実態、利用者 アンケート調査				
/ ノクート調宜 ・ ワークショップ等								
利用促進イベント				・ソークショック寺 利用促進イベント				
開催				開催				
加比				加廉				

・連携計画の検証 ・次年度実証実験の 企画立案 ・報告書等資料作成	2.2.15.25	1.1. 477TM	0.1 6.76.75	・連携計画の検証 ・次年度実証実験の 企画立案 ・報告書等資料作成		C 57010	1.0 5.7.0.7.
小計	33,15 <u>3</u> 千円	<u> 11,477</u> 十円	21, 676 十円	小計	33,15 <u>4</u> 千円 <u>1</u>	<u>り,576</u> 十円	16,578十円
4 0 0 5 5 5	·	- 414 = 1 - 1 - 1		1 0 0 7 5	/== *	#=1 	
	(平成22年度) 事	·			(平成22年度)事事	美計 <u></u>	
(2)事業計画の	機要(目標)等			(5)事業計画 <i>0</i>	D概要(目標)等		
事業の名称	事業の概要(目標	· 実行主体	評価事項	事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
根尾地域自主運行バ	ス			根尾地域自主運行ノ	ベス		
				<u>昼間時デマンド型</u> <u>運行</u>	山間地に散在する住民の移動ニーズに柔軟に対応しかつ運行の効果化を図るため昼間時況マンド型運行の実証の験を行う。	<u> </u>	 利用者数の増加 利用頻度の増加 利用者満足度の 向上 利用者 1 人あた り市年間負担 コストの削減
料金格差の是正・運行の効率化に向けた調査・検討	無料化などについて 査・検討を行う。 利用実態を踏まえ近の効率化に向けた記 査・検討を行う。	<u> </u>	・利用者満足度の 向上・利用者 1 人あた り市年間負担 コストの削減	11. 11. → 11		- - -	
ササユリ	マルック 大 英部 オート	\=\ \+\\\+\	和田本米のPhan	ササユリ	亚라01左连翘木 丛	T + H +	和田本料の開告
ダイヤ <u>及びルート</u> の見直し	平成21年度調査・ 結果を踏まえ必要 じて再度ダイヤ <u>・</u> / トの見直しを行う。	<u>に応し</u>	・利用者数の増加 ・利用頻度の増加 ・利用者満足度の 向上	ダイヤ <u></u> の見直し	平成21年度調査・検証 結果を踏まえ必要に応じて再度ダイヤ の見直しを行う。		・利用者数の増加 ・利用頻度の増加 ・利用者満足度の 向上

フリー乗降制の <u>拡</u> <u>充</u>	平成22年度も継続する。ただし平成21年度調査・検証結果を踏まえ必要に応じて区間の見直しを行う。	本巣市	・利用者1人あたり市年間負担コストの削減	フリー乗降制の <u>導</u> <u>入</u>	平成22年度も継続する。ただし平成21年度 調査・検証結果を踏ま え必要に応じて区間の 見直しを行う。	本巣市	・利用者1人あたり市年間負担コストの削減
もとバス				もとバス			
もとバス路線 <u>及び</u> <u>運行形態の</u> 再編	平成22年度以降は無料 バスとして実証実験を 行う。	本巣市	・利用者満足度の	もとバス路線等 再編	平成22年度も実証運行を継続する。ただし平成	本巣市 <u>岐阜バス</u>	・利用者数の増加・利用頻度の増加・利用者満足度の
			向上 ・利用者1人あた り市年間負担コ ストの削減		21年度調査・検証結果 を踏まえ必要に応じて ルート・ダイヤの見直 しまたはデマンド方式		向上 ・利用者1人あた り市年間負担 コストの削減
			-	 高齢者無料制度の	<u>へ変更を行う。</u> 平成22年度も継続す	本巣市	
				導入	<u> 一次22 千皮 5 杯紙 9</u>	<u> </u>	
				乗継無料制度の導	平成22年度も継続す	本巣市	
				<u> </u>	<u> </u>		
樽見鉄道				樽見鉄道			
横見鉄道エコ切符 の発行	平成22年度も継続す	樽見鉄道	・利用者数の増加	樽見鉄道エコ切符 の発行	平成22年度も継続す	樽見鉄道	・利用者数の増加
地域公共交通全般	る。			>=14	る。		
地域公共父迪王叔	T	T		地域公共交通全般		1 274 -14	
				小型低床バスの導	高齢者の利便性・安全	本巣市	•利用者満足度の
_					性を向上するため小型		<u>向上</u>
					低床バスを導入する。	1.32.1.	
				JR穂積駅行き急	樽見鉄道及び J R 利用	本巣市	・利用者数の増加
				行バスの検証	者の利便性向上を図る	交通事業者	・利用者満足度の
					ためJR穂積駅への急		<u>向上</u>
					行バス運行の実証実験		
					<u>を行う。</u>		

広域的交通結節点	公共交通間及び他モ	ー 本巣市	・もとバス利用者	広域的交通結節点	公共交通間及び他	モー協議会	
への接続	ドとの結節を強化す	·る	の利便性向上	の整備	ドとの結節を強化す	する	
	ため広域的交通結節	i点			ため広域的交通結合	節点	
	(北方バスターミナ				の実施設計を行う。		
	ル)への接続を検証	す					
	る。						
				C&R用駐輪場の		バス協議会	·C&R利用者数
				整備	の利用促進を図るだ		の増加
					C&R用駐輪場を	整備	
					<u>する。</u>		
商業施設駐車場を	樽見鉄道の利用促進	を商業施設	・P & R 利用者数	商業施設駐車場を	樽見鉄道の利用促送	進を 商業施設	・P & R 利用者数
活用したP&R	図るため駅周辺商業	施	の増加	活用したP&R	図るため駅周辺商	業施	の増加
	設駐車場をP&R用	駐			設駐車場をP&R	用駐	
	車場として利用する	0			車場として利用する	る。	
その他の利用促進策				その他の利用促進第	衰		
公共交通ガイド	樽見鉄道・路線バス	• 協議会	•公共交通利用者	公共交通ガイド	樽見鉄道・路線バ	ス・協議会	•公共交通利用者
ブックの作成	市営バスのダイヤ改	:正	数の増加	ブックの作成	市営バスのダイヤ	改正	数の増加
	等を踏まえガイドブ	゚ッ			等を踏まえガイド	ブッ	
	クの改訂版を作成す	•			クの改訂版を作成す	す	
	る。				る。		
ワークショップ・ <u>体</u>	平成22年度も継続す	協議会		ワークショップ・	平成22年度も継続	す 協議会	
験学習等の実施	る。			総合学習等の実施	る。		
PR	平成22年度新たに実	施協議会		PR	平成22年度新たに第	実施 協議会	
	する <u>運行</u> 内容の	周			する <u>実証実験</u> 内容の	の周	
	知・PRを行うため	<u>チ</u>			知・PRを行うたる	め <u>ポ</u>	
	<u>ラシ等</u> を作	成			スター・チラシを	作成	
	する。				する。		
(2)事業費等				(2)事業費等			
	総事業費	国費	地域の負担		総事業費	国費	地域の負担
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)	事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)
根尾地域自主運行バ	ス			根尾地域自主運行	ベス		

				昼間時デマンド型			
				<u>運行</u>	1,500千円	750千円	750千円
もとバス				もとバス			
もとバス路線 <u>及び</u>				もとバス路線 <u>等</u>			
運行形態の再編	2,863千円	0千円	2,863千円	再編	27,106千円	13,553千円	13,553千円
				高齢者無料制度の	00178	1007	1007
				<u>導入</u> 乗継無料制度の導	804千円	402千円	402千円
				<u>米極無科制度の導</u> 入	536千円	268千円	268千円
地域公共交通全般				地域公共交通全般			
				小型低床バス			
				の導入	18,500千円	9,250千円	9,250千円
				C&R用駐輪場の			
				整備	3,000千円	1,500千円	1,500千円
その他の利用促進策				その他の利用促進策	ž.		
				公共交通ネット			
				ワーク再編に係る	9,000千円	4,500千円	4,500千円
				利用促進等支援業			
 				│ <u>務</u> │<内容>			
				・ガイドブック、			
				チラシ等制作			
				• 利用実態、利用			
				者アンケート調査			
				・ワークショップ			
				<u>等利用促進イベン</u> ト開催			
				→ <u>下囲催</u> ・連携計画の検証			
				• 次年度実証実験			
				の企画立案			
				• 報告書等資料作			

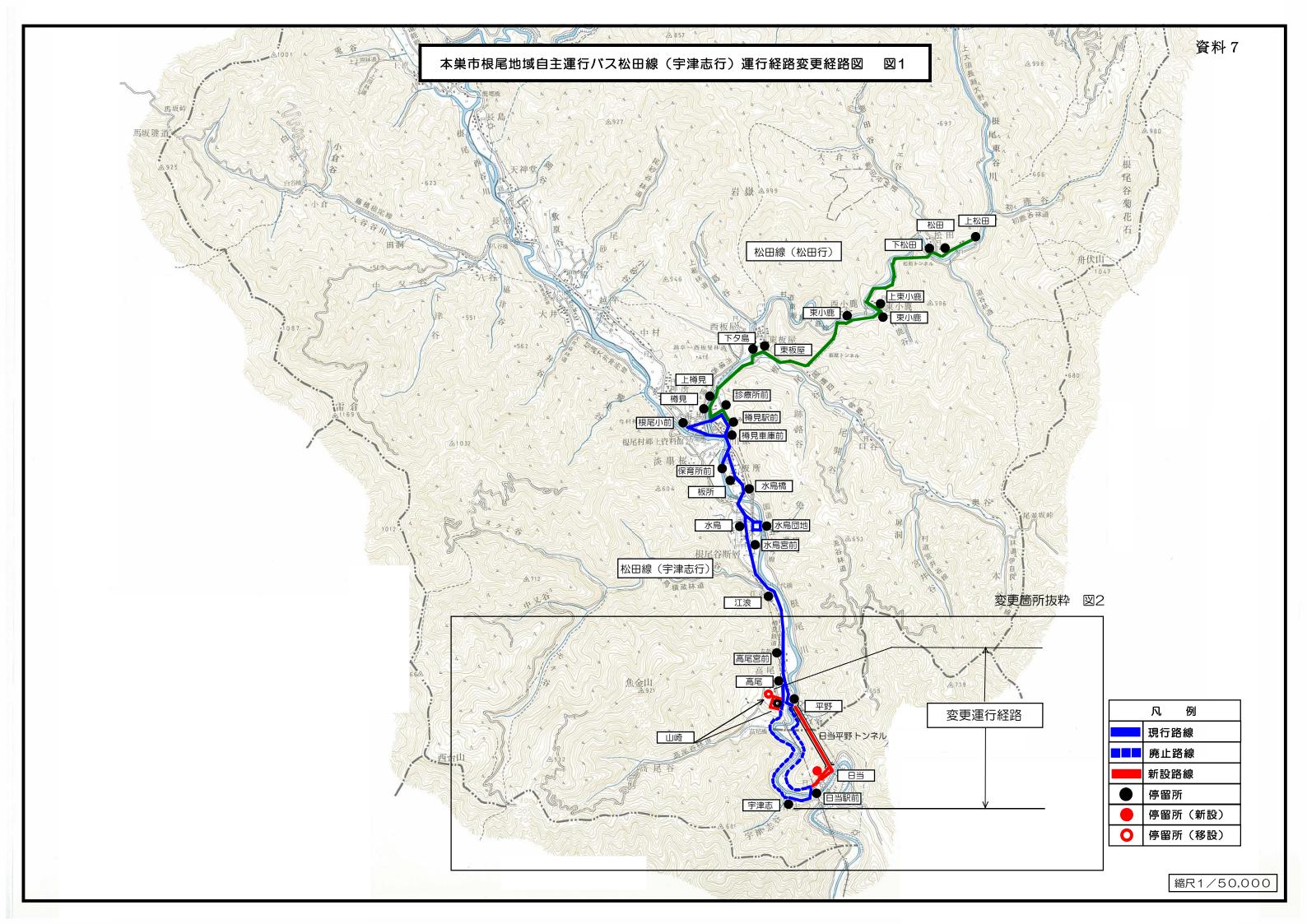
				成			
公共交通ガイド							
ブックの作成	530千円	0千	<u> 530千円</u>				
小計	3,393千円	0千	円 3,393千円	小計	60,446千円	30,223手	円 30,223千円
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
4 2 2 左 庄 (平成23年度)事	泰 打型		4 2 2 左 亩	· (平成23年度)事	***	
		未引凹				未引凹	
(3)事業計画の)概要(目標)等		
事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項	事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
根尾地域自主運行バ	ス			根尾地域自主運行力	ベス		
				昼間時デマンド型	平成23年度も昼間	本巣市	・利用者数の増加
				<u>運行</u>	時デマンド型運行		・利用頻度の増加
					の実証実験を継続		・利用者満足度の向
					<u>する。</u>		<u> </u>
							・利用者1人あたり
							<u>市年間負担コスト</u> の削減
加入校 学の日子 医	五十00万中中117	T- >> T-					<u>V 2 月 1 / P X</u>
料金格差の是正・運	平成23年度以降は 無料バスとして実	本巣市	・利用者満足度の向				
行の効率化	<u>無科ハスとして美</u> 証実験を行う。		<u>上</u> ・利用者1人あたり				
	<u> </u>		市年間負担コスト				
			の削減				
ササユリ			- 144074	ササユリ			
ダイヤ及びルート	平成22年度調査・検	本巣市	利用者数の増加	ダイヤ	平成22年度調査・検	本巣市	・利用者数の増加
の見直し	証結果を踏まえ必		・利用頻度の増加	<u></u> の見直し	証結果を踏まえ必		・利用頻度の増加
	要に応じて再度ダ		・利用者満足度の向		要に応じて再度ダ		・利用者満足度の向
	イヤ <u>・ルート</u> の見直		上		イヤの見直		上
	しを行う。		・利用者1人あたり		しを行う。		・利用者1人あたり
フリー乗降制の <u>継</u>	平成23年度も継続	本巣市	市年間負担コスト	フリー乗降制の <u>導</u>	平成23年度も継続	本巣市	市年間負担コスト
<u>続</u>	する。ただし平成22		の削減	<u>入</u>	する。ただし平成22		の削減

	年度調査・検証結果 を踏まえ必要に応 じて区間の見直し を行う。				年度調査・検証結果 を踏まえ必要に応 じて区間の見直し を行う。		
もとバス		•		もとバス		•	
もとバス路線 <u>及び</u> <u>運行形態の</u> 再編	平成23年度も <u>無料</u> バスとして実証実 <u>験を継続する。</u>	本巣市	・利用者満足度の向上 ・利用者1人あたり 市年間負担コスト の削減	もとバス路線 <u>等</u> 再編	平成23年度も <u>実証</u> 運行を継続する。た だし平成22年度調 査・検証結果を踏ま え必要に応じて ルート・ダイヤの見 直しまたはデマン ド方式へ変更を行 う。	本巣市 <u>岐阜バス</u>	・利用者数の増加・利用頻度の増加・利用者満足度の向上・利用者 1 人あたり 市年間負担コストの削減
				高齢者無料制度の 導入 乗継無料制度の導 入	平成23年度も継続 する。 平成23年度も継続 する。	本巣市 本巣市	
樽見鉄道				樽見鉄道			
樽見鉄道エコ切符 の発行	平成23年度も継続する。	樽見鉄道	・利用者数の増加	樽見鉄道エコ切符 の発行	平成23年度も継続する。	樽見鉄道	・利用者数の増加
地域公共交通全般				地域公共交通全般			
				J R 穂積駅行き急行バスの検証	平成23年度も実証 実験を継続する。	本巣市 交通事業者	・利用者数の増加・利用者満足度の向上
広域的交通結節点 <u>への接続</u>	公共交通間及び他 モードとの結節を 強化するため広域 的交通結節点(北方 バスターミナル)へ の接続を行う。	本巣市	・利用者数の増加(樽 見鉄道, 市営バス) ・利用者満足度の向 上	広域的交通結節点 の <u>整備</u>	公共交通間及び他 モードとの結節を 強化するため広域 的交通結節点 <u>を整</u> 備する。	協議会	・利用者数の増加(樽 見鉄道, 市営バス) ・利用者満足度の向 上

C&R用駐輪場の整備 がリアフリー対応 車輌の導入	博見鉄道及びもと バスの利用促進を 図るためC&R用 駐輪場を整備する。 高齢者の利便性・安 全性を向上するた めバリアフリー対 応車輌を導入する。	本巣市	・C&R利用者数 の増加・利用者満足度の 向上				
その他の利用促進策				その他の利用促進第			
公共交通ガイド ブックの作成	樽見鉄道・路線バス・市営バスのダイヤ改正等を踏まえガイドブックの改訂版を作成する。	協議会	・公共交通利用者数 の増加	公共交通ガイド ブックの作成	博見鉄道・路線バス・市営バスのダイヤ改正等を踏まえガイドブックの改訂版を作成する。	協議会	・公共交通利用者数 の増加
ワークショップ・ <mark>体</mark> 験学習等の実施	平成23年度も継続する。	協議会		ワークショップ・ <mark>総合</mark> 学習等の実施	平成23年度も継続する。	協議会	
PR	平成 23 年度変更内 容の周知・P R を行 うため <u>チラシ等</u> を作成する。	協議会		PR	平成 23 年度変更内 容の周知・P R を行 うため <u>ポスター・チ</u> ラシを作成する。	協議会	
商業施設駐車場を 活用したP&R	博見鉄道の利用促 進を図るため駅周 辺商業施設駐車場 をP&R用駐車場 として利用する。	商業施設	・P&R利用者数の 増加	商業施設駐車場を 活用したP&R	平成23年度もP& R用駐車場として 利用する。	商業施設	・P&R利用者数の 増加
(2)事業費等				(2)事業費等			
	総事業費	国費	地域の負担		総事業費	国費	地域の負担
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)	事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)
根尾地域自主運行バ	ス			根尾地域自主運行り	ベス		
				<u>昼間時デマンド型</u> <u>運行</u>	1,500千円	750千円	750千円

料金格差の是正・運							
行の効率化	12,000千円	0千円	12,000千円				
もとバス				もとバス			
もとバス路線及び				もとバス路線 <mark>等</mark>			
運行形態の再編	2,863千円	0千円	2,863千円	再編	27,106千円	13,553千円	13,553千円
				高齢者無料制度の			
				<u>導入</u> 乗継無料制度の導	804千円	402千円	402千円
				<u> </u>	536千円	268千円	268千円
地域公共交通全般				地域公共交通全般			
				JR穂積駅行き急			
				行バスの運行	25,000千円	12,500千円	12,500千円
広域的交通結節点				広域的交通結節点	- 0007		0 - 0 0 - H
<u>への接続</u>	0千円	0千円	0千円	の整備	5,000千円	2, 500千円	2, 500千円
C&R用駐輪場の							
整備	3,000千円	0千円	3,000千円				
バリアフリー対応							
車輌の導入	18,500千円	<u>0 千円</u>	18,500千円				
その他の利用促進策				その他の利用促進策	ž.		
				公共交通ネット			
				ワーク再編に係る	9,000千円	4,500千円	4,500千円
				利用促進等支援業務			
_				→ <u>35</u> → <内容>			
				・ガイドブック、			
				チラシ等制作			
				• 利用実態、利用			
				者アンケート調査			
				<u>・ワークショップ</u> 等利用促進イベン			
<u> </u>				守利用化地イベン			

				ト開催 ・連携計画の検証 ・次年度本格運行 の企画立案 ・報告書等資料作 成			
<u>公共交通ガイド</u> ブックの作成	530千円	0千円	530千円				
小計	36,893千円	0 千円	36,893千円	小計	68,946千円	34,473千円	34,473千円



[平日] 改正後

改訂 平成22年 1月 4日

	/ = KT =r	1* =		1* -	-^ -	144 🗀	/n /-	1c =c	ᆙᄼᅜ	7. 18.11	.i. 🕁	_l. 📥	· - ·-	<u> </u>	<u> </u>	. I	- W D D	1 % 2 2		<u> </u>
	停留所	碑 見	根尾	樽 見	診療	7 見	保育	板 所	水鳥橋	みとり	水 鳥	水 鳥	江	高 尾	高 尾	山崎	平 野	日当	日 当	宇津志
時刻		車庫前	小 前		所 前	駅 前	所 前			団 地		宮 前		宮 前					駅 前	
発着時刻	(1)	7:08	_	-	_	_	-	7:10	-	_	7:12	7:13	7:15	7:16	7:17	7:18	-	-	7:21	7:22
発着時刻	(2)	-	-	_	8:18	8:19	8:21	8:22	-	-	8:24	8:25	8:27	8:28	8:29	8:30	-	-	8:33	8:34
発着時刻	(3)	10:37	-	-	10:38	10:39	-	10:41	10:42	10:44	10:45	10:46	10:48	10:49	10:50	10:51	10:52	10:54	10:55	10:56
発着時刻	(4)	-	15:15	15:17	15:18	15:19	_	15:21	15:22	15:24	15:25	15:26	15:28	15:30	15:31	15:32	15:33	15:35	15:36	15:37
発着時刻	(5)	_	16:22	16:24	16:25	16:26	16:28	16:29	16:30	16:32	16:33	16:34	16:36	16:38	16:39	16:40	16:41	16:43	16:44	16:45

	停留所	宇津志	日 当	日 当	平 野	山崎	高 尾	高 尾	江 浪	水 鳥	水 鳥	みどり	水鳥橋	板 所	保 育	樽 見	診療	樽 見	根 尾	樽 見
時刻			駅前					宮前		宮 前		団 地			所 前	駅前	所 前		小 前	車庫前
発着時刻	(1)	7:23	7:24	7:25	7:27	7:28	7:29	7:30	7:31	7:33	7:34	7:35	7:37	7:38	_	7:45	7:44	7:43	7:41	_
発着時刻	(2)	8:35	8:36	8:37	8:39	8:40	8:41	8:42	8:43	8:45	8:46	8:47	8:49	8:50	8:51	8:53	8:54	_	_	8:55
発着時刻	(3)	10:57	10:58	10:59	11:01	11:02	11:03	11:04	11:05	11:07	11:08	11:09	11:11	11:12	_	11:14	11:15	11:16	_	_
発着時刻	(4)	15:38	15:39	15:40	15:42	15:43	15:44	15:45	15:46	15:48	15:49	-	15:50	15:51	-	15:53	-	-	-	15:54
発着時刻	(5)	16:47	-	-	16:49	_	16:50	16:51	16:52	16:54	16:55	_	16:56	16:57	_	16:59	17:00	17:01	_	

[◎]第1便のみ、板所・根尾小前・樽見・診療所前・樽見駅前の順に運行します。

[※]上記の時刻表は通過予定時刻です。

[平日] 改正前

改訂 平成19年 4月 6日

	停留所	樽 見	根 尾	樽 見	診 療	樽 見	保 育	板 所	水鳥橋	みどり	水 鳥	水 鳥	江 浪	高尾	高 尾		宇津志
時刻		車庫前	小 前		所 前	駅 前	所 前			団 地		宮 前		宮前			
発着時刻	(1)	7:08	_	_	_	_	_	7:10	7:11	_	7:12	7:13	7:15	7:17	7:18	7:19	7:22
発着時刻	(2)	-	_	_	8:18	8:19	8:21	8:22	8:23	-	8:24	8:25	8:27	8:29	8:30	8:31	8:34
発着時刻	(3)	10:38	-	-	10:39	10:40	-	10:42	10:43	10:45	10:46	10:47	10:49	10:51	10:52	10:53	10:56
発着時刻	(4)	-	15:15	15:17	15:18	15:19	_	15:21	15:22	15:24	15:25	15:26	15:28	15:30	15:31	15:32	15:35
発着時刻	(5)	-	16:22	16:24	16:25	16:26	16:28	16:29	16:30	16:32	16:33	16:34	16:36	16:38	16:39	16:40	16:43

	停留所	日 当	平 野	高 尾	高 尾	江 浪	水 鳥	水 鳥	みどり	水鳥橋	板 所	保 育	樽 見	, 診 療	樽 見	根 尾	樽 見
時刻		駅前			宮前		宮 前		団 地			所 前	駅 前	所 前		小 前	車庫前
発着時刻	(1)	7:23	7:27	7:28	7:29	7:31	7:33	7:34	7:35	7:37	7:38	_	7:45	7:44	7:43	7:41	_
発着時刻	(2)	8:35	8:39	8:40	8:41	8:43	8:45	8:46	8:47	8:49	8:50	8:51	8:53	8:54	_	_	8:55
発着時刻	(3)	10:57	11:01	11:02	11:03	11:05	11:07	11:08	11:09	11:11	11:12	-	11:14	11:15	11:16	_	_
発着時刻	(4)	15:36	15:40	15:41	15:42	15:44	15:46	15:47	-	15:48	15:49	-	15:51	-	-	-	15:52
発着時刻	(5)	16:44	16:48	16:49	16:50	16:52	16:54	16:55	-	16:56	16:57	_	16:59	17:00	17:01	_	

[◎]第1便のみ、板所・根尾小前・樽見・診療所前・樽見駅前の順に運行します。

[※]上記の時刻表は通過予定時刻です。

[土曜日] 改正後

改訂 平成22年1月4日

	停留所	樽 見	樽	見	保育	板が	水鳥橋	みどり	水鳥	水	鳥 江 浪	高尾	高尾	山崎	平 野	日 当	日 当	宇津志
時刻		車庫前	駅	前	所 前	Ī		団 地	,	宮前	Íj	宮前	Ī				駅前	
発着時刻	(1)	8:03	_		-	8:05	8:06	-	8:08	8:09	8:11	8:12	8:13	8:14	8:15	8:17	8:18	8:19
発着時刻	(2)	11:16	11:	17	11:18	11:19	11:20	11:22	11:23	11:24	4 11:26	11:27	11:28	11:29	11:30	11:32	11:33	11:34

	停留所	宇津志	日	当	日 当	平 野	山崎	高 尾	高 尾	江 浪	水鳥	水鳥	みどり	水鳥橋	板 所	保 育	樽 見	樽見
時刻			駅	前					宮前		宮前		団 地			所 前	駅前	車庫前
発着時刻	(1)	8:20	8::8	21	8:22	8:24	8:25	8:26	8:27	8:28	8:30	8:31	8:32	8:34	8:35	8:36	8:38	8:39
発着時刻	(2)	11:35	11:	36	11:37	11:39	11:40	11:41	11:42	11:43	11:45	11:46	11:47	11:49	11:50	-	11:52	11:53

[※]上記の時刻表は通過予定時刻です。

本巣市(根尾地域)市営バス

[土曜日] 改正前

改訂 平成18年4月21日

	停留所	樽 見	見樽	見	保育	板 所	水鳥橋	みどり	水鳥	水鳥	江 浪	高 尾	高 尾	山崎	宇津志
時刻		車庫前	扩駅	可前	所 前			団 地		宮前		宮前			
発着時刻	(1)	8:05		-	-	8:07	8:08	-	8:09	8:10	8:12	8:14	8:15	8:16	8:19
発着時刻	(2)	11:16	3 1°	1:17	11:18	11:19	11:20	11:22	11:23	11:24	11:26	11:28	11:29	11:30	11:33

	停留所	日	当	平 野	高尾	高尾	江 浪	水鳥	水鳥	みどり	水鳥橋	板 所	保 育	樽 見	. 樽 見
時刻		駅	前			宮前		宮前		団 地			所 前	駅前	車庫前
発着時刻	(1)	8:2	20	8:24	8:25	8:26	8:28	8:30	8:31	8:32	8:34	8:35	8:36	8:38	8:39
発着時刻	(2)	11:	34	11:38	11:39	11:40	11:42	11:44	11:45	11:46	11:48	11:49	-	11:51	11:52

[※]上記の時刻表は通過予定時刻です。

本巣市(根尾地域)市営バス

本巣市自主運行バス条例新旧対照表

改正案 現行 別表第2(第6条関係) 別表第2(第6条関係) 松田線·料金表(単位:円) 松田線·料金表(単位:円) 120 <u>日当</u> 平野 120 120 平野 130 120 120 山崎 120 120 120 山崎 140 130 120 120 高尾 130 130 高尾 150 140 江浪 江浪 水鳥 宮前 水鳥 水鳥 120 120 120 120 130 120 120 120 140 120 120 120 120 板所 190 160 120 120 120 120 120 保育所前 180 140 120 120 120 120 板所 230 220 190 160 120 120 120 120 120 保育所前 240 230 230 210 170 130 130 130 120 120 120 車庫 230 220 250 240 240 220 180 140 140 140 120 120 120 120 240 230 230 210 170 130 130 130 120 120 120 車庫 | 220 | 180 | 140 | 140 | 140 | 120 | 120 | 120 | 120 | 標見 | 駅前 120 診療 250 240 240 180 140 140 140 120 120 120 120
 220
 180
 140
 140
 140
 120
 120
 120
 120
 120
 120
 120
 診療所前
 250 250 240 | 180 | 140 | 140 | 140 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 樽見 240 240 310 310 140 140 140 120 120 120 120 120 120 樽見 150 150 150 130 130 130 120 120 120 120 根尾 小前 上樽 見 150 150 150 130 130 130 120 120 120 130 130 130 120 120 120 120 120 150 150 320 310 150 150 130 130 130 120 200 200 180 160 150 130 130 120 320 310 280 250 210 200 200 180 160 150 130 130 120 280 250 210 200 200 180 170 150 130 130 120 120 120 120 西小鹿 320 310 300 280 250 210 200 200 180 170 150 130 380 370 370 130 120 120 120 120 120 350 310 270 270 270 240 230 210 190 190 180 180 170 120 西小 430 430 380 370 370 410 400 390 370 340 300 290 290 270 260 230 210 210 200 200 200 140 120 170 120 460 460 200 150 400 390 370 340 300 290 290 270 260 230 210 210 200 200 200 200 150 140 120 470 470 420 410 400 380 350 310 300 300 280 270 240 220 220 210 210 210 210 160 150 120 220 210 210 210 350 310 300 300 210 160 150 120 400 370 360 360 340 320 300 280 280 270 270 260 260 210 210 150 280 270 240 220 270 260 120 松田 400 370 360 360 340 320 300 280 280 270 260 210 210 150 130 120 370 370 340 330 300 280 280 270 270 270 270 220 220 160 130 120 130 120 120 松田 上松 田 120 120